

第38回 わんぱく相撲全国大会

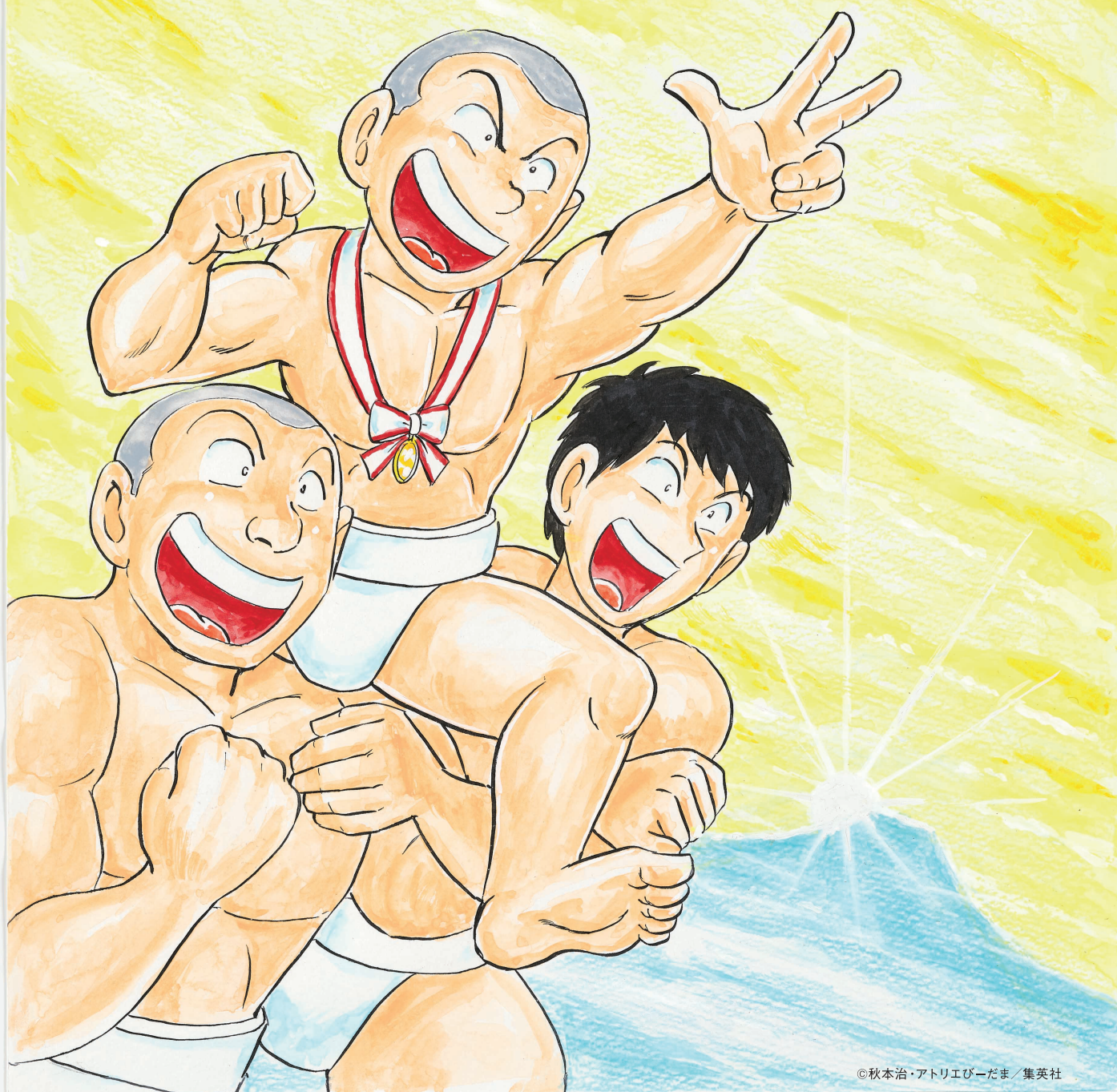
「勇気・礼節・感謝」

～心にいつもわんぱくピース!!!～

大会テーマ

【輝く未来にさらなる前進!!】

2023 年度出場マニュアル



©秋本治・アトリエびーだま／集英社

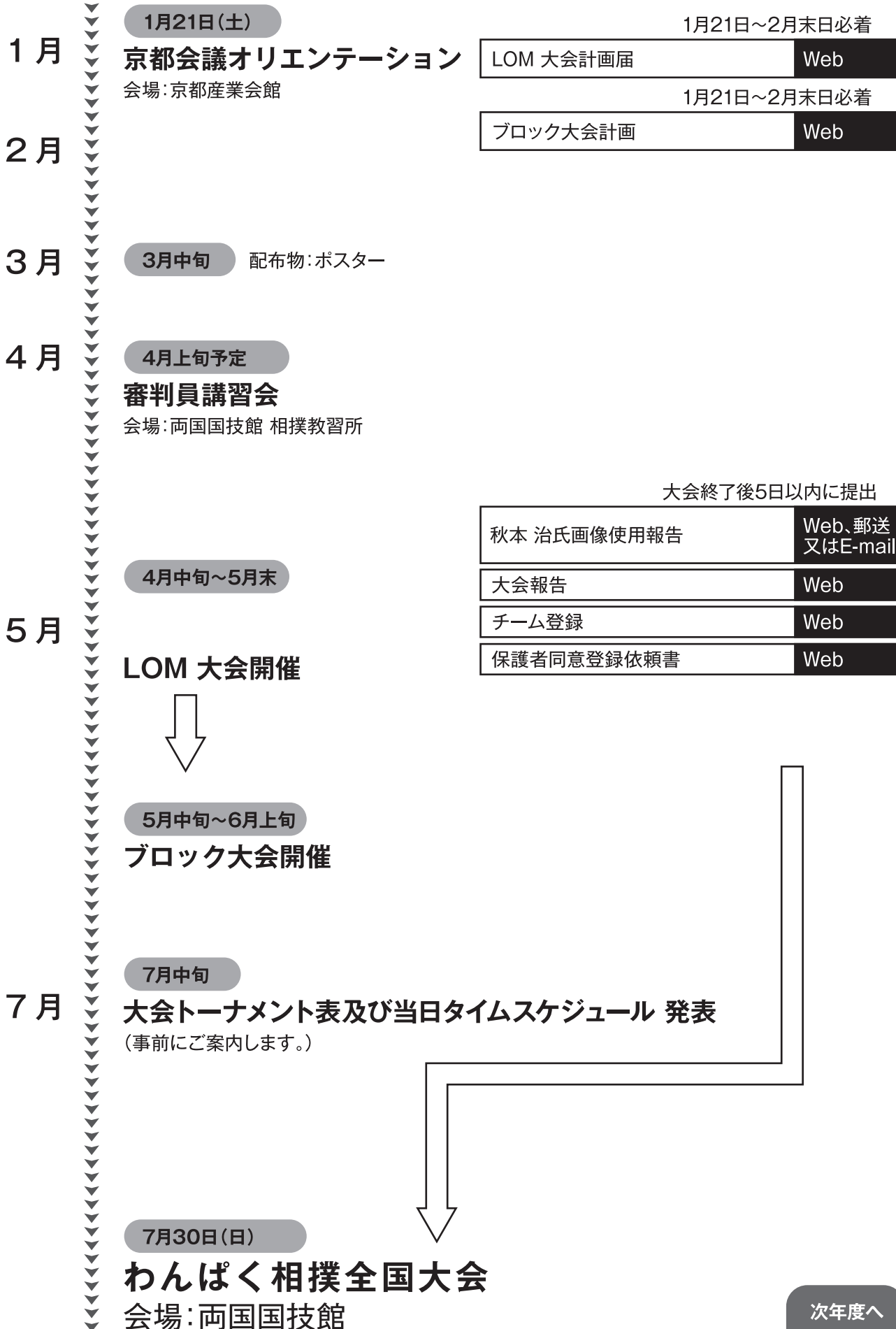
主催：公益財団法人日本相撲連盟

公益社団法人東京青年会議所

後援：公益財団法人日本相撲協会

わんぱく相撲全国大会ホームページ <http://www.wanpaku.or.jp>

全国大会開催までのフローチャート



目 次

はじめに	スローガンについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
第 1 章	わんぱく相撲とは？・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
第 2 章	わんぱく相撲年間スケジュール・・・・・・・・・・	11
第 3 章	LOM 大会実施参考資料・・・・・・・・・・	17
第 4 章	ブロック大会実施参考資料・・・・・・・・・・	25
第 5 章	全国大会に関して・・・・・・・・・・	31
第 6 章	新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン・・・・・・・・	41
第 7 章	保険の手続き・その他について・・・・・・・・・・	47
第 8 章	提出書類・・・・・・・・・・	53
第 9 章	参考資料・・・・・・・・・・	59
第 10 章	「わんぱく相撲」競技事項・・・・・・・・・・	71

「勇気・礼節・感謝」

～心にいつもわんぱくピース!!!～

大会テーマ 【輝く未来にさらなる前進!!】

わんぱく相撲は青少年育成事業として、遊び場の少なくなった子ども達に身近に行える相撲に親しむことで心身の鍛錬や健康の増進、相撲道の持つ礼節や思いやりの気持ちを学ぶ場として、そして子ども達に夢を与えることを目的に継続して開催してきました。2023年にわんぱく相撲地区大会は47回目、男子全国大会に関しては38回目、そして女子全国大会は4回目を開催予定です。

「日本の未来、それは子ども達です。日本の将来を担う子ども達は、国の一番の宝です。全ての子ども達が、自らの個性を発揮し、自信をもって自らの未来を、自らの手で切り拓らく。」

(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaiei/pdf/dai10_1.pdf 教育再生実行会議より)。子ども達の命と未来を守り、無限の可能性に満ちたチャレンジ精神にあふれる若者が活躍する活力に満ちた社会を創り上げていかなければならない、そのような社会を創っていく為には、幼少期の教育環境が最重要です。

相撲は古事記や日本書紀の中にある力くらべや取っ組み合いから発生した伝統あるスポーツと言われています。歴史、文化、神事、競技など様々な側面や奥深さを持ち合わせ、現代にも脈々と受け継がれてきました。わんぱく相撲はそんな相撲の持つ歴史や文化、そして礼節を大切にしています。相撲の持つ文化や礼節は、子ども達に勝ち負けだけにこだわらずに、挑戦すること、努力すること、負けることの悔しさ、勝つことの喜び、相手を慮る心等を学ぶ機会を与えてくれます。わんぱく相撲は相撲を通じて、子ども達の健全育成の為に邁進して参りました。

「相撲」は相手と対峙し、相手に向かって1歩を強く踏み出し、ぶつかるところから始まる競技です。その中で生まれる挑戦する「勇気」と、日本古来から伝わり、礼に始まり礼に終わる相撲だからこそ感じることができる日本人としての誇りある「礼節」、そして全力で戦ったからこそ感じる家族や先生、友達、そして一緒に戦ってきたライバル達への「感謝」の心。この三つをわんぱく相撲三本柱として、子ども達に伝えていきたいと考えます。三本柱とは、カメラの三脚がそうであるように、三点で支えることで非常にバランスが良くなり倒れにくくなります。逆に一本でも欠けると不安定になり、いずれも欠かすことのできない重要な三つの要素のことを示します。わんぱくピースとは親指、人差し指、中指の三本指で、わんぱく相撲の頭文字である「W」を模ったピースのことです。三本指を三本柱と見立てて行うことで、子ども達にとって親しみやすく心に残るものにしていきたいと考えます。

そして、大会テーマである【輝く未来にさらなる前進!!】わんぱく相撲を通じて次世代の子供たちに夢に向かって未来へ前進してほしいという意味が込められています。2023年度のわんぱく相撲では大会を通じて、子ども達が自分達の夢に向かって挑戦していく心を支えていきたい。この先どんな困難が立ちはだかったとしても、わんぱく相撲で培った三つの柱が、子ども達の夢への道を支え続け、諦めずに1歩1歩前に進んでいくことを切に願い、2023年度のスローガンとさせていただきます

わんぱく相撲スローガンと大会テーマ

2023年度のわんぱく相撲の全国大会実行委員会より、各地区大会やブロック大会でのスローガン・テーマの利用についてのご案内を行います。

下記の内容について把握いただいた上、各大会を運営いただけますようお願いいたします。

「勇気・礼節・感謝」～心にいつもわんぱくピース!!!～ 大会テーマ 【輝く未来にさらなる前進!!】

【わんぱく相撲スローガン】

わんぱく相撲の大会開催にあたり、全参加者に意識していただきたい内容となります。わんぱく相撲を通じて子供たちに「勇気・礼節・感謝」という日本古来の文化を学んでもらい、それこそが自分たちの誇りであるという心を宿し、未来の社会に向かって新たな一歩を踏み出す挑戦をしてもらいたい。そして大会に携わるすべての関係者においても、このような時代の中で「私たちは子供たちの機会を奪わない」、「子供たちの可能性を輝く未来に向かって発信していくんだ」という強い想いを共有するためにも、わんぱくピースを活用し、常にわんぱく相撲精神の三本柱を胸に抱いてもらいたいです。子供たち、そして大人たちが学び得る、わんぱく相撲精神から、明るい豊かな社会が実現されることを期待します。

【大会テーマ】

わんぱく相撲ではスローガンにて運営する意義やわんぱく相撲の主旨を記載していますが、各地区大会では個別に毎年大会テーマ等を決めていただいても問題ありません。大会テーマやスローガンの使い分けを把握していなかった地区では、今後わんぱく相撲スローガンまたは個別大会テーマの積極的な利用をご検討ください。尚、全国大会の大会テーマは子供たちにどのような環境下でも新たな挑戦を行える人材になって欲しい願いと子供たちに困難を乗り越えて事業を開催する我々の思いを伝えるものとして設定しております。

2023年度全国大会テーマは次世代を担う子供たちが未来に向かって一歩、一歩前に進んでほしいという意味を込めさせていただき【輝く未来にさらなる前進!!】とさせていただきます。

第 1 章

わんぱく相撲とは？

第1章 わんぱく相撲とは？

1. わんぱく相撲の歴史

わんぱく相撲は1976年に社団法人東京青年会議所(現 公益社団法人東京青年会議所)が実施した「東京・23区の魅力度ー第2回都民生活意識調査報告書」に基づき、遊び場の少ない東京の子供達にスポーツの機会をより多く与え、心身の鍛錬と健康の増進を目的として、誰でも挑戦する事が出来る相撲をとりあげ、翌1977年に23区全域に運動として展開したことに始まります。

1981年には財団法人日本相撲協会との共催が始まり、作成した「わんぱく相撲の手引き」を文部省からのお達しにより、全国の市町村教育委員会並びに各地の青年会議所に配布し、幅広い普及運動を行いました。

その後、国技館が蔵前から両国に移転する際に、わんぱく相撲全国大会の開催が決まり、1985年8月4日に第9回わんぱく相撲東京都大会と併催で、わんぱく相撲全国大会～新国技館落成記念大会～が開催されました。

2001年からは、毎年社会背景を汲んだ大会テーマを掲げ、相撲の勝敗だけにこだわることなく、相撲道が持つ礼節や思いやりを学び、大会を通して勝つことの喜び、負けることの悔しさを体験することにより、勝者を称え、敗者への思いやりを育む事を目的としております。

2. 目的と趣旨

わんぱく相撲全国大会は、子供達が日本の国技と言われる相撲を通じて、心身の鍛錬と健康の増進を図り、相撲の勝敗だけにこだわることなく、勝つことの喜び、負けることの悔しさを体験することにより、勝者を称え敗者への思いやり、周囲の方への感謝の気持ちを育む事を目的として始まりました。現在は大会を通して、同時に地域の責任ある大人が協力し合う環境を作り、地域社会を活性化する事も目的としています。

これまでに、全国各地の青年会議所を通じて普及してきたわんぱく相撲大会は、子供達へ挑戦する場を与え、世代を超えた地域のコミュニケーションの機会を多く与えてきました。青年会議所が目的として掲げる明るい豊かな社会の実現を叶える事業として、今後更なる発展をする可能性を秘めた事業として、多くの青年会議所で、大会を開催して頂いています。

わんぱく相撲全国大会は、これからも多くの青年会議所からの御協力を頂き、1つでも多くの地域で、1人でも多くの子供達に参加の機会を与えていきたいと考えます。

子供達にとって全国大会の舞台で相撲を取るという目標を持つ事は、努力する事、苦しさに耐える事、勝つことの喜び、負けることの悔しさ、敗者への思いやりを学ぶ機会であり、心豊かに育つ鍛錬の機会だと考えます。

運営についても、親と子、運営者が協力しあって、地域のコミュニティ内で相互に交流できるような“手作りの大会”を目指しております。皆さまには、本大会の趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第1章 わんぱく相撲とは？

3. 大会役員と運営

1986年の第2回わんぱく相撲全国大会より、社団法人東京青年会議所と財団法人日本相撲協会が共に主催し、運営等の諸準備に実行委員会を設置し、運営を行う共催となりましたが、様々な歴史を経て、2022年度は公益社団法人東京青年会議所と公益財団法人日本相撲連盟が共催となり、運営を行ってまいります。

実行委員会は、大きく「大会役員団」「大会実行委員会」「大会企画委員会」「事務局」の四つで構成しております。

そして、「大会役員団」と「大会実行委員会」には、主催以外の関係団体から、下記のような形で見識のあるメンバーを選出し、安定した運営を出来るよう、継続して参りました。「大会企画委員会」は関係団体の調整と事業全体の企画を担い、「事務局」は公益社団法人東京青年会議所の事務局と公益財団法人日本相撲連盟および公益財団法人日本相撲協会の事務局で構成し、企画の原稿を作成すると共に諸々の事務処理を行っております。

資金に関しては、公益財団法人日本相撲協会と公益社団法人東京青年会議所からの拠出金と協賛金によってまかない、社会の宝、国の宝である子供達のために目的と趣旨に沿った運営を行っております。

第1章 わんぱく相撲とは？

4. 大会役員等の組織

1) 「わんぱく相撲全国大会役員団」の構成

名 誉 会 長	……………	(公財) 日本相撲連盟	会長
会 長	……………	(公社) 東京青年会議所	理事長
名 誉 顧 問	……………	警察庁	長官
〃	……………	東京都	知事
〃	……………	日本放送協会	会長
〃	……………	(公財) 日本相撲協会	理事長
〃	……………	(公社) 日本青年会議所	会頭
〃	……………	(公社) 日本P T A全国協議会	会長
顧 問	……………	スポーツ庁	長官
〃	……………	(公社) 日本青年会議所	専務理事
〃	……………	(公社) 東京青年会議所	直前理事長
参 与	……………	スポーツ庁 健康スポーツ課長	
〃	……………	警察庁生活安全局 少年課長	
大 会 役 員	……………	参加青年会議所	理事長

2) 「わんぱく相撲全国大会実行委員会」の構成

実行委員長	……………	(公社) 東京青年会議所	担当副理事長
副実行委員長	……………	(公財) 日本相撲連盟	副会長
〃	……………	(公財) 日本相撲連盟	副会長
〃	……………	(公財) 日本相撲連盟	専務理事
〃	……………	(公財) 日本相撲協会	理事
〃	……………	(公社) 東京青年会議所	担当委員会 担当理事
〃	……………	(公社) 東京青年会議所	委員長
実 行 委 員	……………	(公財) 日本相撲連盟	
〃	……………	(公社) 東京青年会議所	
監 事	……………	(公財) 日本相撲連盟	
〃	……………	(公社) 東京青年会議所	

第1章 わんぱく相撲とは？

3)「わんぱく相撲全国大会企画委員会」の構成

企画委員長 …………… (公社) 東京青年会議所

企画副委員長 …………… (公財) 日本相撲連盟

企画委員 …………… (公財) 日本相撲連盟

〃 …………… (公財) 日本相撲協会

〃 …………… (公社) 東京青年会議所

4)「わんぱく相撲全国大会事務局」の構成

(公財) 日本相撲連盟

(公社) 東京青年会議所

(公社) 日本相撲協会

第2章

わんぱく相撲 年間スケジュール

2023 年度 わんぱく相撲 12 ヶ月

1. Firststep【仮エントリー時期】11月～12月

各地会員会議所にて、次年度の役員が決定後、わんぱく相撲全国大会の参加を確認し、所定の手続きを実施してください。(2023年度エントリーはWEBにて実施)

又、この時期に次年度のわんぱく相撲LOM大会の反省点等をまとめ、翌年の運営に関しての企画立案を行って下さい。

〔重要事項〕

- (1) 役所および関係諸団体担当者の引き継ぎを行う。
- (2) 大会への動員数および予算(資金集めも含む)計画等、前任者から引き継ぎを行う。
- (3) 大会会計の引き継ぎを行う。
- (4) 本年度引き継ぎを完了し大会の反省点および問題点などを整理する。
- (5) 大会会場の予約。スケジュール、動員・後援、協賛の計画及び担当者の決定。但し、6月上旬までに大会を終わらせるよう立案すること。
※ブロック大会を行う場合も6月上旬までに大会を終わらせて下さい。
- (6) 「わんぱく相撲全国大会」への参加申込みを行う。
※参加申し込み方法はメールにて、エントリー方法を記載した資料を配布致します。
- (7) ブロック大会を行うブロックは次年度主管LOMを決定し、運営方針を確認する。

〔わんぱく相撲全国大会実行委員会からの配布物〕

- (1) わんぱく相撲全国大会エントリーページ(メールにて資料を配布致しますので、HPからエントリーをお願いします。)
- (2) 京都会議わんぱく相撲オリエンテーション案内

2. 【京都会議・本エントリー時期】1月～2月

1 月……LOM大会・ブロック大会の方針を決定し、京都会議内でのわんぱく相撲全国大会オリエンテーションにご参加下さい。又、LOM内では、わんぱく相撲趣意書、開催要項等の資料を作成し、関係諸団体へ挨拶する準備を進めて下さい。

2 月……LOM大会・ブロック大会の大会計画届けをWeb上にて提出して下さい。

又、新規協賛企業を当てるのであれば、決算前の2月～3月に多くの企業への提案を行う事をお薦めします。

〔重要事項〕

- (1) HPよりLOM大会計画届をWebで提出。(2月末日締切)
- (2) LOM大会の目的または方針を決定し、趣意書、開催要綱をまとめる。
- (3) 事業計画書の作成、予算準備を行う。
(全国大会用の予算付けもしておく事をお薦めします。)
- (4) 協賛企業、協力団体、後援団体、関係諸団体、地方自治体、教育委員会への挨拶・打合せ。新規協賛企業への提案。
(当日運営の人員確保が困難な場合は、地域の学生ボランティアなどにもお声がけください。)
- (5) 動員方法の決定。
- (6) 京都会議内で行われるわんぱく相撲全国大会オリエンテーションへの参加
- (7) ブロック大会がある場合は別途、第1回運営協議会を開催。(第4章参照)
- (8) 大会計画届・運営協議会届をHPにてWebで提出。(2月末日締切)

〔わんぱく相撲全国大会実行委員会からの配布物〕

- (1) 秋本治氏画像使用申請書(Web上での申請になり、大会計画書に含まれております。
大会計画登録後にHPよりダウンロード可能になります。)
- (2) わんぱく相撲全国大会出場マニュアル、わんぱく相撲全国大会リーフレット
(大会計画登録後にHPよりダウンロード可能になります。)

3. [LOM大会開催前準備段階] 2月～3月

〔動員方法例〕

- (1) 各地区の教育委員会に趣意書や関係資料を持って訪問し、わんぱく相撲の説明を行う。
- (2) 小学校の校長会・教頭会に趣旨と動員に対する協力をお願いをする。
- (3) 区役所等の自治体を持つ学校便りを活用する。
- (4) 各小学校にポスターの掲示とチラシを置かせてもらう。
- (5) 各地域の公報及び掲示板に掲載させてもらう。
- (6) PTA連合会、町内会、青少年協議会、ボーイスカウト連盟及び子供会連合会等の団体を、各地区社会教育課で調査し参加の依頼を行う。
- (7) 前年度出場した子供達の名簿を用いて、参加動員に役立てる。
※教育委員会・学校・地方自治体への協力依頼が無い場合、各学校内外でのポスターの掲示やチラシの配布を断られる場合がありますので注意して下さい。来賓等の決定及びLOM大会招待状の印刷配布。
- (8) 協賛集め。
(LOM大会プログラムへの広告掲載、横断幕の掲示等条件を提示する事をお薦めします。)
- (9) 動員計画・動員及び受付け開始。ポスター、LOM大会参加申込書の配布。
- (10) LOM大会プログラムの作成及びLOM大会運営の最終検討。

〔わんぱく相撲全国大会実行委員会からの配布物〕

(1) ポスター50枚。全国大会出場メダルは全国大会当日配布

3月下旬にWEBでの仮エントリー時に登録された宛先に郵送します。

4. 【LOM大会・ブロック大会開催直前】3月～4月

動員のラストスパートの月です。この時期の中頃までには各LOMで資金集めと動員計画を完了させて下さい。又、大会当日に必要な物品の確認をして下さい。

(例：土俵、まわし、LOM大会主催団体からの表彰状、大会ソング等の手配、会場内外の看板、参加賞、賞品、取組表、スリッパおよびテーブルや文房具、医師ないし看護師の手配、救急箱の用意、所轄警察・消防署への大会届け等)

〔重要事項〕

- (1) 資金集めおよび動員を完了すること。
- (2) 大会当日に必要な備品などの準備。
- (3) 大会概要を各種SNSで発信をお願いします。

〔大会運営方法〕

動員数にもよりますが、午前中から開催する場合と午後から行う場合があります。一つの土俵で消化できる取組数は、取組方法にもよりますが大体1時間当たり30～50番です。具体的には正味5時間前後の大会ですと、一つの土俵で350人前後の消化は可能です。

動員数が多数の場合には、最初に学年別に3人抜きから5人抜きを行い、上位8人か16人かまたは32人を選抜して、その中でトーナメント方式を行うと350人以上消化できます。

動員が少ない場合には、最初からトーナメント方式で行い、一回戦のみを三番勝負としても良いと思います。さて、行司や検査役ですが、公認審判員で行う事が理想的だと考えます。その他、相撲連盟、地区体育指導員、大学相撲部員および町内会の協力を得て下さい。

〔大会終了後の重要事項〕

- (1) 大会終了後には、次年度以降のためにも関係諸団体に必ず大会成果の報告をして下さい。
- (2) 大会終了後、全国大会に参加する保護者の方に保護者同意登録依頼書(WEB入力方法が記載されたもの)を渡して下さい。
- (3) 大会終了後、**5日以内**に大会報告(WEB入力)・秋本治氏画像使用報告(E-mail 添付 wanpaku@tokyo-jc.or.jp)を提出して下さい。
- (4) 全国大会に向けての出場準備。(応援、輸送等の手配)
- (5) 大会の様子を各種SNSで発信をお願いします。

5.【全国大会に向けて】4月～6月

各LOM大会・ブロック大会が終了しましたら次の報告・書類提出を正確にしたかどうか確認して下さい。大会終了後には各後援団体・協賛企業へ大会成果の報告とお礼を行い、全国大会事務局へのLOM大会報告書(WEB入力)・秋本治氏画像使用報告の提出をして下さい。

※プログラム印刷の都合上、LOM大会、ブロック大会終了後 **5日以内** にお願ひ致します。

※代表選手の保護者にWEB入力していただく全国大会出場保護者同意書の送信の完了を確認して下さい。

※もし、上記期限までにご登録いただけていない場合は、事務局、担当者様、責任者様にメール・電話等で催促をさせていただきます。

〔注意事項〕

- ・代表選手は全国大会でまわしを締めて出場しますが、そのまわしは必ず全国大会までに股の部分にあたる所をもみほぐして軟らかくしておくようお願い致します。
- ・代表選手の練習会において、わんぱく相撲本来の趣旨のもと礼儀作法をご指導下さい。
- ・Web上で抽選を行います。

〔重要事項〕

- (1)全国大会会場入りは前日土曜日正午となります。
- (2)代表選手の変更届けは、大会 **3日前** の正午までとします。それ以降の変更は大会運営上受け付けられませんので不戦敗とさせていただきます。
- (3)大会の様子を各種SNSで発信をお願いします。

6.【全国大会】7月30日(日)

全国大会は出場する子供達にとって各地域から勝ち進んできた選手と相撲を取り、日本一を決める憧れの舞台です。大きな緊張を伴う子供も少なくありません。緊張のあまりまわしを締めた後に尿意を催す子供もいますので、まわしの用意を早めに済ませ、準備体操等を行って、リラックスさせて下さい。又、集合場所へは余裕を持って集まるようにして下さい。

7.【全国大会終了後】8月～12月

わんぱく相撲のLOM大会事業報告、反省点をまとめて下さい。

又、わんぱく相撲に協力して頂いた関係諸団体および企業に、LOM大会、ブロック大会、全国大会の成績報告も含めてお礼状を出して下さい。

〔重要事項〕

- (1) 関係諸団体および協力団体へのお礼状を出して下さい。
- (2) 次年度のための資料及び書類等を整理しておき次年度担当者が決まり次第、引き継ぎを行って下さい。

第 3 章

L O M大会实施参考資料

第3章 LOM 大会実施参考資料

1. 開催要綱

1) 名 称: 第■回わんぱく相撲■■ LOM大会

2) 主 催: ■■青年会議所

(主管)

3) 共 催:

4) 後 援:

5) 開 催 日: ■■年■月■日(■)

受付開始

開 会

競技開始

6) 開催場所:

7) 出場資格: LOM大会(第1次予選) = LOM大会を開催する地域に在住または在学する小学生(男女)。但し、在住または在学している地区で大会を開催していない場合、近隣のLOM大会への参加を可能とする。尚、選手のLOM大会出場は当該年度1回のみの参加とする。

8) 競技方法:

9) 競技事項: 第〇〇回わんぱく相撲全国大会開催要綱記載通りとする。

10) 競技規定: 第〇〇回わんぱく相撲全国大会開催要綱記載通りとする。

11) 審判規定: 第〇〇回わんぱく相撲全国大会開催要綱記載通りとする。

12) 事務局: ■■青年会議所内に置く。

(問合せ先) ▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲

2. 供与物リスト

物 品 名	数 量	備 考
わんぱく相撲全国大会出場マニュアル	4部	京都会議より配布
わんぱく相撲全国大会リーフレット	50部	京都会議より配布
わんぱく相撲全国大会ポスター	50部	各 LOMへ3月中旬に送付
わんぱく相撲全国大会メダル	3個	全国大会出場選手用 全国大会当日配布

3. 申込書(サンプル)

1) 各LOM大会主催者の定めによる。

2) 申込書記入事項

- ①学校名 ②学年 ③氏名 ④自宅住所 ⑤自宅電話 ⑥生年月日 ⑦年齢
⑧身長 ⑨体重 ⑩体調 ⑪保護者の同意 ⑫印鑑

〔例〕

わ ん ぱ く 相 撲

場 所 申 込 書

①	小学校名	小学校	学年	年生	②		
	ふりがな						
③	名 前						
④	自宅住所						
⑤	電 話						
⑥	生年月日	平成	年	月	日生	才	⑦
⑧	身 長	cm	体 重	kg	⑨		
	既往症						
⑩	現在の健康状態						

⑪ 保 護 者 同 意 書

■■■青年会議所主催、わんぱく相撲大会に参加することに同意します。

申 込 年 月 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

保 護 者 名 _____ (印) ⑫

住 所 _____

3-2. 事前申込システムの利用

- 1) 各LOM大会主催者が希望する場合、わんぱく相撲全国大会実行委員会側で用意した申込システムを利用可能
(2月に各LOMへ案内とシステム利用申込開始、3月より申込機能利用開始予定)
- 2) コロナ対策の一環で、大会当日の選手の受付時の密集・行列の状況緩和のための選手事前申込システムの仕組みを以下に図示する。

①大会前 — 事前申込



保護者がWEBページから選手申込

お名前 必須	姓	名
メールアドレス 必須		

②大会前 — 申込完了とメール通知



申込完了後にWEBページ上に選手用のQRコードが表示される

登録メールアドレス宛にメール通知が届く

メール内容からもQRコードを再度取得・表示が可能



③大会当日 — 受付

受付で スマートフォン等でQRコードを表示して受付へ見せる

受付は管理用画面から QRコードをカメラで読取

選手名・性別・学年が特定できるので、保護者と選手を誘導



④大会後 — 緊急連絡先

管理画面から、電話番号とメールアドレスを参照可能

メールの一斉配信機能



上記を、わんぱく相撲の申込管理用サイトで地区大会毎に申込ページと管理ページを用意し、運用予定。

4. 地域の理解を得るために

「わんぱく相撲」大会の目的と趣旨を正しく理解していただくためには、主催者の熱意と計画的な行動力が必要になります。

地区内全域から協力を得る場合と、地区内に重点地域を設定して、限りある主催者のスタッフが、そこに全力を集中する場合があります、様々な活動範囲が考えられます。

そこで、10年間の東京23区大会の具体的手法を概説して、これから「わんぱく相撲」大会を実施される地区の参考としていただければよいのではないかと考え、本項を設けました。

1) 後援・協力団体を考える

「わんぱく相撲」のような社会教育に関する事業は、広範囲に色々な団体や個人から、社会的な理解を得ることが重要なポイントになります。

地域には、地方自治団体をはじめとして色々な団体があります。地方自治体の中だけでも、広報室、社会教育室、教育委員会、公民館、児童館、青年館、図書館、小学校、警察署、消防署等事業遂行のうえで色々な協力をしていただける機関が多くあります。

また、諸団体の中には、子供達と直接関係を持つ子供会、スポーツ少年団、ボーイスカウト連盟、交通安全少年団、野球チーム、サッカーチーム、そして柔道や剣道の道場があります。子供達と直接関係のない町内会、自治会、商店会、商工会議所、ライオンズクラブ、ロータリークラブの方々にも子供や孫がおり、子供達の健やかな成長を望んでいると思います。学生ボランティアなども活発に活動しております。

計画をしっかりと立てて、協力依頼内容を明確にして理解を深めていって下さい。

〔準備資料〕

- ① 後援依頼書あるいは協賛依頼書
- ② 開催要綱やパンフレット等の参考資料
- ③ 市役所等では、役員名簿、定款、予算書、前回決算書の提出を求められることがあります。

2) 開催日の設定

開催日の設定は、本事業の遂行上非常に大事なポイントになります。

一人でも多くの子供達に参加してもらうためには、学校の行事(運動会や授業参観日)や野球大会等と重ならない日を設定する必要があります。従って、子供達と直接関係を持つ団体とは早めに日程調整をしたらよいと思われます。

学校の行事との調整は難しいかもしれませんが、教育委員会や校長に長年の実績を認められて、協力をしていただいている地区もあります。

日曜日が無理ならば土曜日に開催することも考えられます。マット土俵を6面使用して、25名のスタッフで900名の大会を行っている地区もありますので十分可能なことです。

開催日の設定が第一です。次に集まり易い会場を決定するようにして下さい。会場は、校庭を開放してもらうのもよいでしょうし、体育館や神社の境内でもよいと思われます。

〔日程調整が予想される団体〕

- ① スポーツチーム、子供会、ボーイスカウト(子供達が沢山参加している)
- ② 小学校

3) 子供達の参加を募るには

球技や水泳を行っている子供達にどんどん相撲を取る楽しさやおもしろさを味わってもらうのに何の遠慮もありません。子供達と直接関係を持つ団体に参加依頼をすることは大事なことです。また、地方自治体の広報紙や、町内会、自治会の回覧板への掲載及び地元の新聞やテレビ、ラジオ等でPRすることもよいのではないのでしょうか。あるいは、広報板や児童館、図書館、公民館にポスターを貼らせてもらったり、商店会のように人が集まる所にはポスターを貼らせてもらったり、チラシや参加申込書を置いてもらうのも効果的です。

小学校の協力度合はまちまちのようです。校長やPTAの会議の場に何回も足を運び、趣旨、計画内容、安全対策等を熱心に説いて協力を得られた地区もあります。

また会場の周辺地域の小学校、PTA、商店会に集中的に協力を依頼し、地元意識の結集により成果を上げた地区もあり、手法は色々考えられます。

〔ターゲットをどこに置くか〕

- ① 子供と直接関係する団体
- ② 広報紙、新聞、テレビ、ラジオ、ポスター
- ③ 子供と直接関係ない団体(商工会議所、ライオンズクラブ、ロータリークラブ)
- ④ 小学校(校長会、PTA協議会、体育担当教師)

4) 当日運営

相撲好きな人はどこの地区にでもいます。そのような人の中には参加者の募集や運営にも手伝ってくれる人もいます。そういう人にはできる範囲で協力してもらいたいものです。

また、大会運営の放送などは小学生の放送部などにしてもらうことも可能です。子供達で楽しく運営しているという雰囲気も良いものではないでしょうか。

色々な人達の協力を得て、幅の広い大会運営を模索して、地区ごとに特色のあるスタイルをつくってみてはどうでしょうか。

(進行表の例)

1. 選手入場
2. 開会の辞
3. 大会委員長挨拶
4. 来賓祝辞
5. 選手宣誓
6. 競技委員長(審判長)注意
7. 競技説明
8. 準備体操
9. 競 技
10. 成績発表
11. 表 彰
12. 講 評
13. 閉会の辞
14. 選手退場

(運営組織系の例)

1. 受 付
2. 進 行
3. 記 録
4. 広 報(写真)
5. 審 判
6. 来賓接待
7. 救 護
8. 会場整理
9. 会場外整理

(当日用意するものの例)

1. 参加賞
2. 賞品・賞 状
3. 取組表
4. まわし
5. 救急箱
6. 事務用品
7. マット土俵
8. 大会ソング
9. JC旗、国旗

第4章
ブロック大会
実施参考資料

第4章 ブロック大会実施マニュアル

1. 開催趣旨

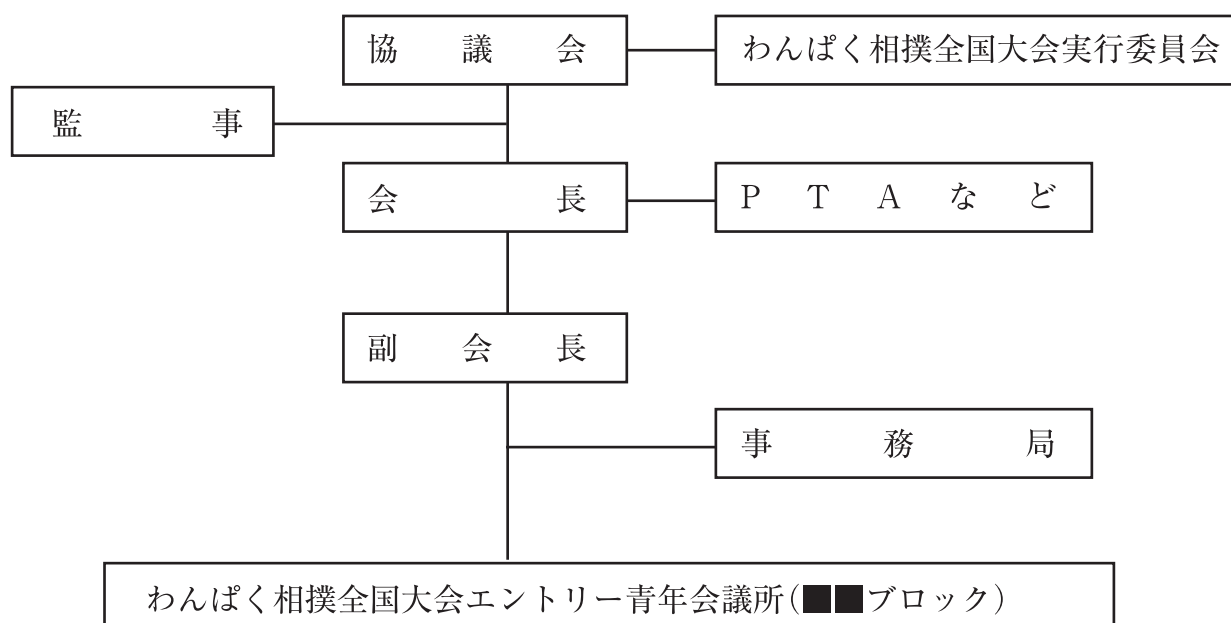
1985年より開催している「わんぱく相撲全国大会」は、皆様方のご協力により年々参加LOMが増加してまいりました。それに伴い全国大会に参加を希望するチーム(LOM)の選手全員を両国国技館で開催される全国大会に出場していただくことが物理的に不可能になってまいりました。

この現状をふまえ、わんぱく相撲全国大会実行委員会では各ブロック大会の運営をスムーズに行っていただくために、開催要綱、事業計画、ブロック協議会の会則および組織図のひな型を埼玉ブロックわんぱく相撲協議会のご協力により作成いたしました。ブロック大会の参考になれば、幸いです。

2. 意義と成果

1. 「相撲」を通じ、「礼節」を学び、「努力する」ことや「思いやり」等、社会生活に必要な徳性を養う場と与えられる。
2. 「わんぱく相撲大会」を開催することで、子供たちに「夢」を与え、励みとすることができる。
3. 「明るい豊かな社会」作りを目指す各地の青年会議所の基本的な理念であるコミュニティ(地域社会)の形成という重要な役割を果たすと同時に「心豊かな青少年の育成」を強力に推進することができる。
4. 広く保護者並びに関係諸団体からも期待される「わんぱく相撲大会」は、地域社会に適合し、「JCの主要事業」として定着化の方向に向かっている。

3. 「わんぱく相撲ブロック大会運営協議会」



4.「わんぱく相撲ブロック大会運営協議会」会則(例)

第1条(名 称)

本会は、「わんぱく相撲ブロック大会運営協議会」と称する。

第2条(目 的)

■■■ブロック内のわんぱく相撲全国大会にエントリーしたLOMによって、■■■ブロック代表チームを選出すべき大会を運営協議する事を目的とする。

第3条(運営の原則)

本会は、青年会議所活動の一環として運営するもので、営利目的とした事は一切行わない。

第4条(活 動)

本会は、第2条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1)協議会の開催
- (2)■■■ブロック大会の開催
- (3)その他、本会の目的を達成するために必要な活動

第5条(会 員)

本会は、第2条の目的にそって次の者を会員とする。

- (1)■■■ブロック内のわんぱく相撲全国大会にエントリーしたLOM
- (2)■■■ブロック内のわんぱく相撲全国大会にエントリーした各青年会議所の代表者

第6条(入 会)

■■■ブロック内の青年会議所で、わんぱく相撲全国大会にエントリーした青年会議所であれば入会できる

第7条(会 費)

第5条に基づく会員は、本会の運営に必要な費用を納入しなければならない。

LOM負担金として、年間■■■円を納入しなければならない。

第8条(役 員)

本会に次の役員を置く。

- (1)会 長: 1 名
- (2)副会長: 若干名
- (3)監 事: 2 名

第9条(事 務 局)

本会の事務を処理するため事務局を設置する。

第10条(会則の改正)

この会則の改正について必要な事項は、協議会の議決を経て執り行う。

5.「望ましいブロック大会のありかた」

① ブロック運営協議会について

ブロック運営協議会とは同一ブロック内にある「わんぱく相撲全国大会」に参加を希望するLOMにより構成される会で、ブロック大会に関する最高意思決定機関です。

事務局は全国大会実行委員会との窓口ともなりますので必ず設置していただくようお願い致します。

(組織)

- ・協議会…ブロック内における最高意思決定機関で、ブロック大会の運営全般をつかさどります。
- ・会長…主管LOMの理事長に就任して頂くのがやりやすいと思います。通常は協議会の議長を務めます。
- ・副会長…会長を補佐し協議会を運営致します。会長および監事を除く参加LOMの理事長が就任されるのがわかりやすいと思います。
- ・監事…協議会の講評、ブロック大会の事業報告書等の決算の承認などを行います。副会長以外の参加LOMの理事長が就任して下さい。
- ・事務局…ブロック大会開催における様々な事務処理を行います。主管LOMに設置するのがわかりやすいと思います。(事務局長も決めておくと運営がスムーズになります。)

② 日程について

全国大会プログラムおよび宿泊準備等の都合上、大会を6月末日までに開催して下さい。提出書類を大会終了後5日以内に提出して下さい。

③ 選抜方法について

・出場チーム

参加チームは1LOM1チームの場合が多いが、時間のある場合はチーム数を増やすブロックもあります。

・選抜方法

1)LOM単位のチームによって選抜して行く方法。

2)合同選抜(チーム名は5文字以内にして下さい。{ゼッケンや印刷物作成に支障がある為})誰が見てもどの地域から出場しているか分かるように、地域名をチーム名に入れるようにして下さい。

選手毎のトーナメントを行い、上位者によってチームを組んでいく方法。

・試合方法

総当たりあるいは個人戦トーナメント方式で行う。なお、個人戦の場合は点数によって確定する。

④ 審判方法

審判の中立性を保つために、なるべく地元にある相撲連盟に審判をお願いして下さい。なお、4月上旬に審判員講習会を開催する予定です。

⑤ 保険について

詳細に関しましては第7章をお読み下さい。

⑥ 必要書類

- ・開催要綱
- ・事業計画書
- ・事業報告書
- ・運営マニュアル

6.「ブロック毎出場枠について」

2023年度のわんぱく相撲全国大会への出場可能チーム数の枠は、ブロック毎に割り当てます。ブロック(都道府県)毎に、全国大会へ出場可能な枠数が異なります。

ブロック内で、わんぱく相撲全国大会へエントリーしている LOM数に応じて、以下の通り全国大会出場可能チーム数の枠を取り決めています。

〈ブロック内のエントリーLOM 数〉

- | | |
|----------------|---------|
| ・1 LOMのブロック | → 出場枠 1 |
| ・2 LOMのブロック | → 出場枠 1 |
| ・3 LOMのブロック | → 出場枠 2 |
| ・4 LOMのブロック | → 出場枠 3 |
| ・5～9 LOMのブロック | → 出場枠 4 |
| ・10～19LOMのブロック | → 出場枠 5 |
| ・20LOM以上のブロック | → 出場枠 6 |

上記の通りとなります。

ブロック内での地区大会の開催数ではなく、LOMエントリー数に応じて出場枠を決めます。

第 5 章

全国大会に関して

第5章 全国大会に関して

1. 開催趣旨

公益社団法人東京青年会議所は、青少年の健全育成を目的に「わんぱく相撲」を実施してきました。1981年以来、文部科学省や公益財団法人日本相撲協会の協力を得て、「わんぱく相撲の手引き」を全国の市町村や、当時の669LOMに配布する等、普及活動を推進してきました。その結果、現在全国の約200LOMの参加を得て全国的に開催されるなど普及の成果も顕著に出ております。このように、全国各地に広がる「わんぱく相撲」の輪を更に大きくし、各地の大会に参加している子供たちに夢と感動の機会を与えると共に質的にも充実した「JCの主要事業」として「わんぱく相撲全国大会」を公益財団法人日本相撲連盟と共催で開催いたします。

2. 意義と成果

1. 相撲道が持つ礼節の中から努力や思いやり、感謝の気持ちを学び、社会生活に必要な徳性を養う場を与えられる。
2. わんぱく相撲全国大会を開催することで、子供達に夢を与え、挑戦する励みとすることができる。
3. わんぱく相撲は、今や全国に普及しており、社会開発運動・社会教育の一環として高く評価されてJCが行う地域の別の事業と相乗効果で集客する事が可能であり、地域コミュニティの活性化に大きく貢献している。

3. 「第38回わんぱく相撲全国大会」開催要項

- 1) 名 称: 第38回わんぱく相撲全国大会
「勇気・礼節・感謝」～心にいつもわんぱくピース!!!～
【輝く未来にさらなる前進!!】
- 2) 主 催: 公益財団法人日本相撲連盟、公益社団法人東京青年会議所
- 3) 後 援: スポーツ庁、警察庁、東京都、墨田区、日本放送協会、
(公社)日本PTA全国協議会、(公財)日本相撲協会、(公社)日本青年会議所
- 4) 開 催 日: 2023年7月30日(日)
- 5) 開催場所: 両国国技館
- 6) 形 態: わんぱく相撲全国大会とLOM及びブロック大会
- 7) 出場選手: 全出場選手数 約15,000人

8) 出場資格: ● LOM大会(第1次予選)=各LOM大会を開催する地域に在住または在学する小学生(男女)。但し、在住または在学している地区で大会を開催していない場合、近隣のLOM大会への参加を可能とする。尚、選手のLOM大会出場は当該年度1回のみの参加とする。

開催は、2023年4月～5月末日迄とする。

● ブロック大会(第2次予選)=各ブロック大会主催者の定めによる。開催は、2023年6月末までとする。

● 全国大会=各地青年会議所を通じエントリーのあったチーム。

チーム編成は、4年生1名、5年生1名、6年生1名、計3名とし、男子に限る。

● 年齢=2011年4月2日から2014年4月1日までの生まれで、この学年に該当する小学生。

6年生…2011年4月2日から2012年4月1日

5年生…2012年4月2日から2013年4月1日

4年生…2013年4月2日から2014年4月1日

※就学延期制度により、生年月日とその学年が異なる場合は、わんぱく相撲全国大会実行委員会において資料提出を求め、調査・協議のうえ決定する。

9) 競技方法: ● LOM大会(第1次予選)=各LOM大会主催者の定めによる。

● ブロック大会(第2次予選)=各ブロック大会主催者の定めによる。

● 全国大会=個人戦と団体戦を行う。

個人戦…各LOM大会で選抜された選手によるトーナメント方式で各学年別に行い、横綱1名、大関1名、関脇2名、小結4名をそれぞれ決定する。

団体表彰…各選手の成績を点数で加算する方式で出場チームを対象として全学年の得点順に優勝、準優勝、第3位を選出する。但し同点の場合は、

1) 優勝者(横綱)の数、2) 高学年優勝(横綱)又は準優勝(大関)の序列。

※ブロック大会は、わんぱく相撲全国大会実行委員会の判断により、開催をお願いすることもあります。又、競技規定は全国大会出場マニュアルに準じます。

10) 大会事務局:公益社団法人 東京青年会議所に置く。(担当:田島)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 青年会議所会館 2F

TEL. 03-5276-6161 FAX .03-5276-6160

11) 供 与 物: (1) 全国大会参加メダル、ポスター

(2) その他(京都会議以降決定する)

12) 宿 泊：全国大会出場選手3名及び引率者1名(JCメンバー)の宿泊は実行委員会が手配する相撲部屋への宿泊を検討中。

※新型コロナウイルス感染状況により相撲部屋宿泊が不可能な場合は各自費用負担での宿泊先手配をお願いします。

13) そ の 他：(1)付随事業として、全国大会前日に研修事業の開催を検討する。

(2)大会出場選手には、保険会社と実行委員会の間にレクリエーション傷害保険契約を結ぶ。保険の適用範囲は、全国大会のみとする。尚、施設賠償保険にも加入する。

(3)出場選手及び引率者の交通費は、各LOM大会主催者等の負担とする。

(4)参加されるLOMは事前に開催されるオリエンテーション(1月の京都会議)に参加する事を前提に出場を認める。

(5)全国大会の入場は原則無料とする。

(6)本事業は、青少年健全育成事業のため両国国技館内での飲酒・喫煙は禁止とする。

※喫煙に関しては、所定の場所を設ける。

4. 2023年全国大会運営の概略(案)

全国大会リハーサル、研修事業、全国大会当日の概要を説明し、LOM 大会終了後の諸手続きの説明をします。

※新型コロナウイルス感染状況により、予定が異なる場合もございますのでご了承ください。

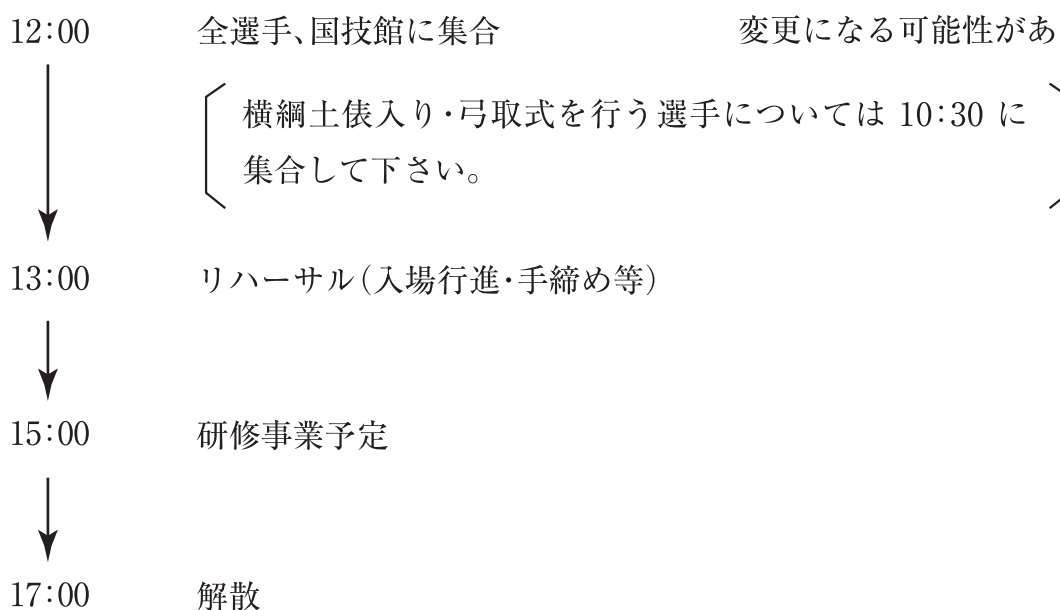
※相撲部屋宿泊が行われない場合は各自にて宿泊所のご手配をお願いします。

※このタイムスケジュールはあくまで現時点でのものなので変更することもございますのでご注意ください。

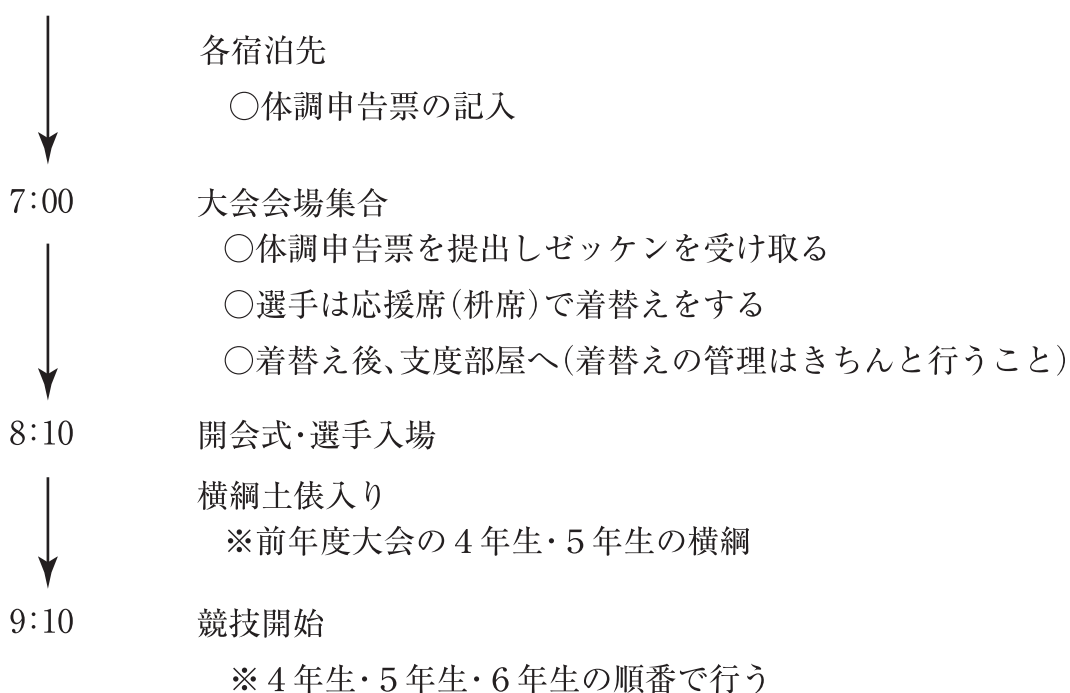
1) 大会前日(リハーサル)から大会当日までのタイムスケジュール(案)

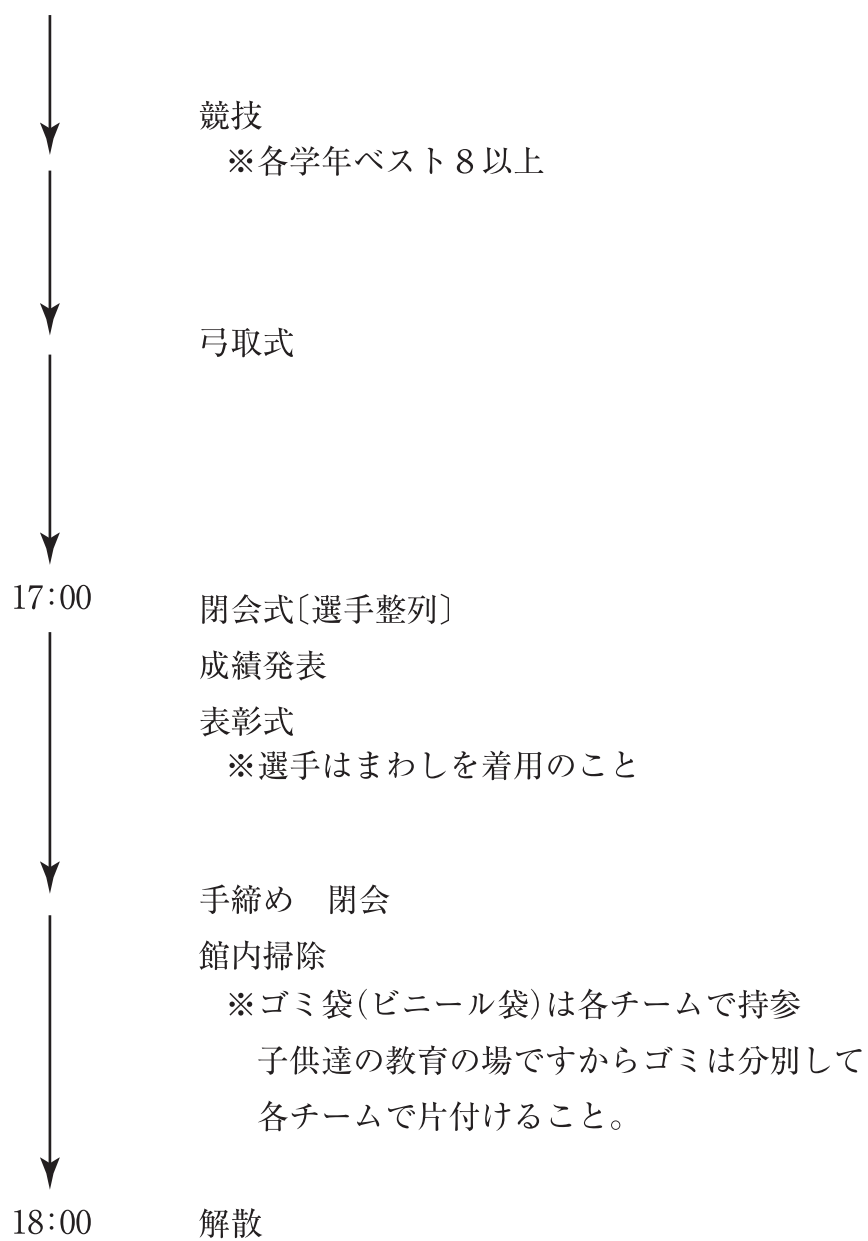
(大会前日)29日

※スケジュールは、
変更になる可能性があります。



(全国大会当日) 30日





2)運営上の注意点

① 開催期日について

全国大会は7月の開催となります。従ってLOM大会(ブロック大会がある場合はブロック大会)を、6月末日までに終了していただきます。

② 選手について

○土俵上のマナーを十分伝えておいて下さい。

○応援席においても特別扱いはせず、子供の教育のためになることは率先してゴミ拾い等実践させて下さい。

○保険証(コピー)を持参させて下さい。

○まわしを締められる人を養成しておいて下さい。

③ 応援方法

○進行の障害にならない範囲内で行って下さい。

④ 会場内ボックス席利用について

○会場内ボックス席は実行委員会が使用しますので、無断使用はお断りします。

⑤ 自主防火、警備について

○地下1階は選手、関係者以外の立ち入りを禁止します。

○ドア近くには応援器材を置かないこと。

○会場内の通路や階段での立ち見は厳禁とします。

○会場内は禁酒・禁煙です。

○選手以外の方々のケガには保険適用はありません。

⑥ 会場汚損防止について

○会場借用には原状回復が原則です。

○応援席の飾り付けには針金、画鋏、クギ等の金物は厳禁とします。

○壁面、床にガムテープ、セロテープの直接使用も厳禁です。

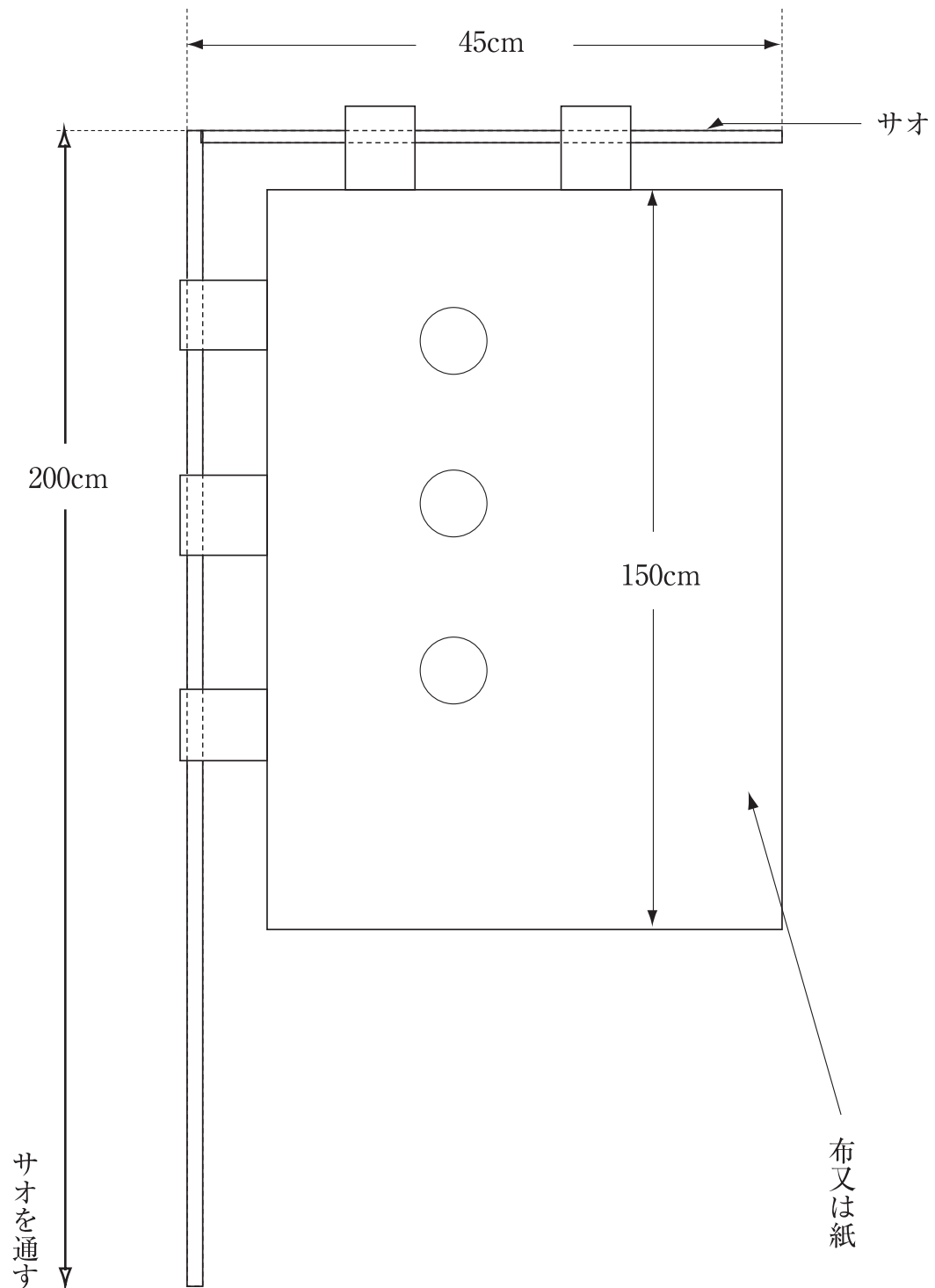
⑦ 駐車場について

○国技館内の駐車場は使用できません。

○大型バスは指定の駐車場へご案内致します。(事前の申請が必要となります。)

3)全国大会に準備するもの

○選手を応援するための「のぼり」は下図の通りに各チームでご準備願います。リハーサル当日に花道脇階段手摺に設置して下さい。ただし、他のチームの迷惑にならないようご注意ください。



〈注意事項〉

1. サオは実行委員会にて用意します。
2. 「のぼり」は各チーム1本まで
3. 横断幕・タレ幕の禁止

4)全国大会前の諸準備

- ① 2022年度横綱(4年生、5年生)土俵入り用の綱を作成するため、相撲部屋の担当者が腹囲を計測にいくことがありますので、横綱を擁する地区の方はご協力下さい。また、露払い、太刀持ち、行司の子供の名前を7月中に大会事務局までご連絡願います。

弓取式の選手は2022年度6年生横綱の居たチームの選手とします。

② Web・メールでの連絡事項

- ・ リハーサル及び大会当日の詳細なスケジュール
- ・ 研修事業企画内容(予定)
- ・ 各チーム役員・選手の行動マニュアル
- ・ 応援方法の注意事項と使用許可範囲の明示
- ・ 運営上の諸注意事項
- ・ 駐車場に関する説明
- ・ その他

5)7月30日前日企画について

内容やスケジュール等の詳細はトーナメント発表時と合わせてご案内いたします。

第 6 章

新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン

2 0 2 3 年度改訂版

本ガイドラインは、「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」及び「相撲におけるスポーツ活動再開ガイドライン」に則り、競技会を開催する際に、新型コロナウイルス感染防止等の留意点を示すものです。

政府・自治体の方針、地域の感染状況など十分考慮の上、安全に競技会を開催してください。

ガイドライン

「競技会開催準備」

1) 会場選定

- ①密集対策として参加者(選手・役員)が、最低1mの間隔を保つことができる施設を選定する。
- ②応援者・観客については、最低1mの間隔を保てるよう入場を制限する。
- ③周囲の人と十分な間隔が保てない場合は、無観客で行う。

2) 大会要項等の作成

- ①本ガイドラインを基に会場の実態等に合わせた「留意事項」を作成し要項に明記する(別紙可)。また、「留意事項」は、大会プログラムに掲載し徹底をはかる。
- ②「留意事項」を順守できない場合は、出場させない旨を明記する。
- ③企画委員会で競技時間の短縮に向けた検討を行い、感染リスクの低下をはかる。

3) 会場設営

- ①感染防止に関する注意事項を適切な場所に掲示し、周知を図る。
- ②入場者が密集にならないよう区域割を行い、人の流れが向き合わない導線を示す。
- ③適切な場所に、手洗い場所、アルコール消毒場所を設置する。
- ④複数の参加者が触れると考えられる場所(トイレや支度部屋を含む)の消毒、控室等の換気を定期的実施する計画を作成する。
- ⑤東西の土俵溜では選手・副審の距離を可能な限り保つ。

4) 大会開催の判断について

- ①各わんぱく相撲大会開催の判断につきましては、各大会実行委員会の判断の基で行ってください。
本件に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- ②わんぱく相撲地区大会への後援の有無にかかわらず、開催地域の行政に確認・相談を行うこと。
- ③緊急事態宣言が発令されている場合は中止とすること。

「健康確認」

- 1)主催者は、参加者(選手・役員・監督・コーチ)に対し、当日の体温の他、競技会前2週間における以下の事項の有無について情報提出を求める。
 - ・平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)
 - ・咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - ・だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - ・嗅覚や味覚の異常
 - ・体が重く感じる、疲れやすい等
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 2)主催者は、参加者のうち当日の体温が平熱を超えるものや、1)の各事項について該当するものに対し参加の見合わせを求める。
- 3)主催者は、応援者・観客に対しても、1)の各事項に該当する場合は、入場の見合わせを求める。

「当日受付」

- 1)窓口には手指消毒液を設置する。
- 2)人と人が対面する場所には、アクリル板、透明ビニールカーテン等を設置する。
- 3)受付スタッフは、マスクを着用し、筆記用具は、個人専用のものを使用する。
- 4)入場者に対し、マスクの着用を求める。
- 5)待機列が発生する場所に距離を置いて並べるよう立ち位置を示し、誘導整理する。
- 6)健康確認を行うものを別途配置し、「健康確認」1)の各事項について該当する体調不良者(発熱、咳、咽頭痛等)の入場を制限する。
- 7)会場規模や参加人数により十分な間隔を確保できない場合は、時差をもって受付および入場の制限をすること。

「参加者の行動」

- 1) 競技時以外は、マスクを着用し、こまめに手洗い(30秒以上)、手指消毒を行う。また、真正面での会話は避ける。競技時のマスク着用は怪我につながる恐れがあるため原則不可。
(事前に参加同意書などで保護者確認項目として追記すること。)
- 2) 会場では、常に密集、密接、密閉を避けるように心掛ける。
- 3) タオル、うがい用の水(ペットボトル等を準備)は、自分専用のものを使用し、排水は定められた場所で行う。
- 4) 出場選手は、取組前後に消毒用アルコールティッシュ等で手指の他、顔面、胸、肩等を拭く。
- 5) 参加者同士の大声での声援、指示、指導は禁止とし、競技時以外は、決められた場所で周囲の者と十分な距離を保って観戦する。
- 6) 審判は、競技中もマスクを着用する。
- 7) 主審は、飛沫拡散を配慮し、通常より1歩程度後ろで動作を行う。
- 8) 主審の判定に異議・疑義が生じた場合、審判員は、マスク着用の上、隣の審判員と通常より若干の距離を取って協議を行う。
- 9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告する。

「監督・コーチ等の行動」

- 1) 競技に関する指導だけでなく「三密」を避ける行動、衛生保持についての指導も行う。
- 2) 作戦指導・指示等は、控えに入る前に済ませ、その後の大声での指導・指示・応援は行わない。
- 3) 真正面からの指導・指示は避ける。
- 4) 感染した場合に備えて、所属の応援者等関係者の「入場届」を作成し、受付に提出する。
(終了から4週間後に廃棄)

「応援者・親客・引率者の管理」

- 1) 体調不良者の入場は認めない。
- 2) マスクを着用していない者の入場は認めない。
- 3) 決められた場所で周囲の者と十分な距離を保つよう求める。
- 4) こまめに手洗い、手指消毒を行うよう求める。
- 5) 大声での声援は禁止とし、会話を控えることを周知する。
- 6) 上記の事項について、順守できない者は退場を求める。

「主催者の対応」

- 1) 主催者は、新型コロナウイルス感染症対策の「会場責任者」を複数名指名し、大会会場内の「感染防止策」の徹底に努めさせる。
- 2) 「会場責任者」は、事前に立案された消毒、換気等の計画に基づいて、本ガイドラインが定める留意事項が順守されているか、巡回・確認する。
- 3) 役員及び「会場責任者」は、感染予防に反する行為を見かけた場合は口頭注意し、大会本部に報告する。是正されない場合は退場を命ずる。
- 4) 開会式、閉会式は原則行わず、開会宣言、閉会宣言のみを放送で行うことが望ましい。
- 5) 表彰式は、以下のとおり行うことが望ましい。
 - ・表彰者はマスクと白手袋を着用し、選手はマスクを着用する。
 - ・団体戦の表彰団体は、代表者1名が出席し、賞状・メダルのみを授与する。
- 6) 万が一、感染者が出た場合は速やかに各自治体や行政(保健所等)の指示に従い、感染者を誘導すること。

「その他」

- 1) 飲食は指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避けて、会話は控えめにすること。飲みきれなかった飲料は、中身をカラにしたうえで指定場所に捨てること。
- 2) トイレの使用については、会場の規則を遵守し、使用後は30秒以上の手洗いと自分専用のタオルで手を拭くこと。
- 3) ごみの廃棄は以下のとおり行い、廃棄については、会場の規則に従う。
 - ・鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。
 - ・マスクや手袋を外した後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。
- 4) 感染予防に必要な消毒液、消毒用アルコールティッシュ及び石鹸等はできる限り各自が確保する。
- 5) 参加者等から収集した個人情報については、責任を持って管理し4週間後に廃棄する。
- 6) このガイドラインに定める以外の問題が生じた際は、(公財)日本相撲連盟競技会規程に規定する各委員会及び(公社)東京青年会議所で協議して決定する。

第7章

保険の手続き・その他について

第7章 保険の手続き・その他について

1. 保険について

ア)〔傷害保険〕

大会出場選手には、保険会社とわんぱく相撲全国大会実行委員会の間に保険契約を締結いたします。保険の適用範囲は全国大会当日に発生した事故についてのみ、保険の対象となります。LOM大会当日、ブロック大会前の練習日は保険の対象となりません。

・傷害保険：レクリエーション傷害保険(行事参加者の傷害危険特約セット傷害保険)

当大会に参加した小学生(選手)が競技中や参加の為の途上において、ケガをしたり死亡した場合、保険金が支払われます。

契 約 者：わんぱく相撲全国大会実行委員会

被保険者：わんぱく相撲全国大会参加出場選手

補償範囲：行事に参加するために所定の集合地に集合した時から、所定の解散地で解散するまでの間で、かつ責任者(主催者)の管理下にある間に生じたケガ

※ケガとは、急激かつ偶然な外来の事故によって被った傷害をいいます。

保険金額：死亡・後遺障害保険金 1,000 万円

入院保険金日額(1名あたり) 3,000 円

手術保険金

①入院中に受けた手術：入院保険金日額×10

②上記①以外の手術：入院保険金日額×5

通院保険金日額 1,000 円

※ 健康保険で医療機関を受診ください。(保険証を用意してください)

なお、治療実費をお支払いするものではありません。

イ)〔賠償責任保険〕

当大会の各会場の施設の使用もしくは、管理上の欠陥等が原因で大会参加者や見物人がケガをしたり、財物の破損等があった場合、その被災者に対して、法律上の賠償責任を負った時、保険金が支払われます。

・施設所有(管理)者賠償責任保険

契 約 者：わんぱく相撲全国大会実行委員会

被保険者：わんぱく相撲全国大会実行委員会

事業を行う場所：わんぱく相撲全国大会開催の施設及び練習場所

支払限度額：身体賠償

1 名…… 2 億円

1 事故…… 6 億円

財物賠償

1 事故…… 1,000 万円

※事故の際は、事故報告受付け後、
保険会社にて示談額その他の算
出等をしますので、被害者との示
談交渉は、必ず引受保険会社と相
談のうえ、おすすめてください。

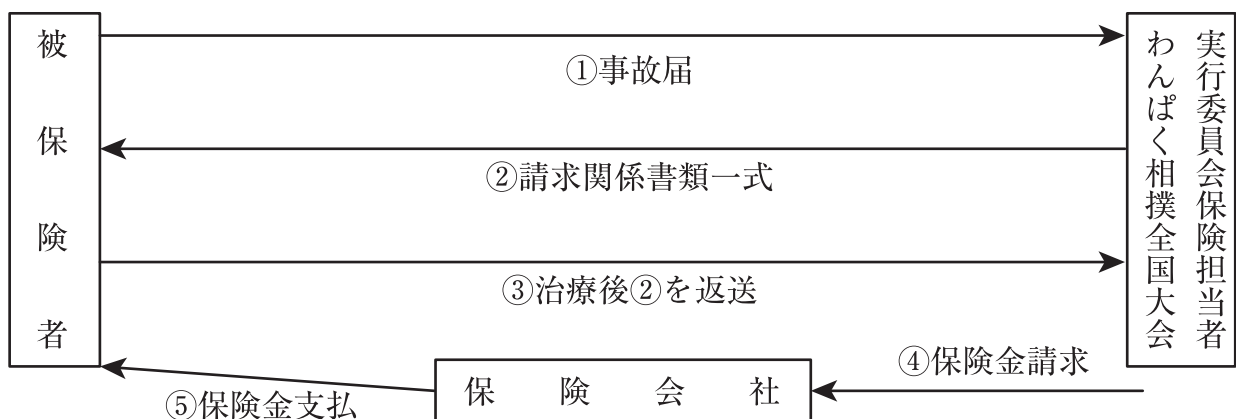
※保険金をお支払い出来ない主な場合

- a. 保険契約者または被保険者の故意による事故
 - b. 地震、噴火、洪水、津波による事故
 - c. 戦争、変乱、暴動、騒じょうなどによる事故
 - d. 自動車の所有、使用、管理に起因して発生した事故により被保険者が負う損害賠償責任(賠償事故)
 - e. むちうち症または腰痛で他覚症状のないもの(傷害事故)
 - f. 脳疾患、疾病または心神喪失による事故(傷害事故)
- など

ウ)保険適用上の注意〔傷害保険〕

- A. 事故受け付け後、7 ～ 10 日後、保険金請求書類等は直接保険会社から被保険者に送付いたします。
- B. LOM・ブロック大会主催者の長からの申請により、わんぱく相撲全国大会実行委員会と契約 保険会社とが調査の上、被保険者に保険金を支払います。
- C. 事故発生時には健康保険証を用いて処置して下さい。

エ)保険金請求の手続きについて



※診断書については、支払保険金が 30万円以下の場合には不要。但し、診断書に代わるものとして診察券(コピー可)を提出のこと。

オ) Q & A

① 傷害保険の入通院の限度日数について

(a) 入院の場合…事故の日からその日を含めて180日以内の入院日数1日につきお支払いします。

通院の場合…事故の日からその日を含めて180日以内の通院日数に対して90日を限度にお支払いします。

※ 医師の治療を受けることが必要です。マッサージ指圧・はり・灸については、医師の指示に基づきながら行われた施術であれば保険金お支払いの対象となります。

② 1日に2か所の病院を受診した場合にはいくら保険金が支払われますか？

(a) 日額払の契約ですので、1日分となります。

③ 診断書を病院で書いてもらおうと費用が掛かるが、傷害保険でその費用は請求できますか？

(a) 保険金請求に関わる費用は請求できません。

④ 選手がケガをしないように土俵周りにいた青年会議所会員が、投げられて落ちてきた選手をかばってケガをした場合は、傷害保険で保険金が請求できますか？

(a) 傷害保険は出場選手のみが請求対象となるため、保険金のご請求はできません。

問い合わせ先

わんぱく相撲実行委員会事務局 公益社団法人 東京青年会議所(担当:田島)

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2 - 14 - 3 青年会議所会館 2F

TEL. 03-5276-6161 FAX .03-5276-6160

(扱者)永峰 麻弥

(引受保険会社)あいおいニッセイ同和損保株式会社 東京北支店 池袋支社

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-22-17 東池袋セントラルプレイス3F

TEL. 050-3460-1442 FAX .03-3984-2751

なお、このご案内は概要を説明したものです。

ご不明の点があれば扱者または引受保険会社にお問合わせください。

2. その他について

2-1. 医療班の手配

- ア) 各LOM内大会(各ブロック大会がある場合はそれも含む)においては、医師ないし看護師を必ず待機させて下さい。
- イ) 不慮の事故を考慮し、各LOM大会会場の近くの救急病院、救急車等をあらかじめ調査し、万が一事故があった場合には手配できるようにしておいて下さい。
- ウ) すり傷、打撲等の軽傷及び骨折等の応急措置のため医療品は必ず各LOMで用意して下さい。

2-2. 貸し土俵とまわし使用

- ア) 会場の設営上、貸し土俵を使用する場合は直接下記の所へ申し込んで下さい。
- イ) 同日に使用が重なる場合には先着順で受け付けます。
- ウ) まわしについては、全国大会出場の際には、白地のまわしをご用意下さい。普段使い慣れているまわしで構いません。購入される場合は、下記の所へ発注して下さい。

三福商事(株) 〒130-0002 墨田区業平3-7-12 電話 03(5608)1021
FAX 03(5608)1020

※詳しい資料は、わんぱく相撲ホームページに2月以降アップします。

2-3. 当日宿泊について

選手3名と青年会議所会員の引率者1名(男性に限る。)は宿泊施設への宿泊となります。

第 8 章

提 出 書 類

重要：提出書類について

2023年度わんぱく相撲全国大会ホームページアドレス(提出書類)

<http://www.wanpaku.or.jp>

2023年度わんぱく相撲全国大会実行委員会・提出先アドレス

wanpaku@tokyo-jc.or.jp

わんぱく相撲全国大会実行委員会事務局(お問い合わせ先:田島)

住所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 青年会議所会館2階 東京JC 内

提出書類の雛形は、わんぱく相撲ホームページログインページにあります。必要事項記入の上、Web上でご提出下さい。

なお例外として、事故報告書については、必要事項を記入・捺印した原本が必要となりますので、必ずわんぱく相撲全国大会実行委員会までご郵送等にて原本をお届けください。

保護者同意登録依頼書に関しては、全国大会出場選手保護者によるPC・モバイルからの登録を実施しております。LOM大会、ブロック大会終了後、保護者の方への通知、連絡をお願い致します。

1. 提出書類の種類

■地区・LOM 大会

項 目	期 限	備 考
大会計画届	1月21日～2月末日	
秋本治氏画像使用申請	1月21日～2月末日	規約、注意点を必ず確認し、お守り下さい ※大会計画届の項目に含まれます。
秋本治氏画像使用報告	大会終了5日後まで	画像データを大会報告登録時にアップロードするようにして下さい ※大会報告届の項目に含まれます。
大会報告	大会終了5日後まで	
チーム登録	大会終了5日後まで	全国大会出場LOMが登録
保護者同意登録依頼書	大会終了5日後まで	全国大会に出場する選手の保護者に依頼書を渡し、Web(PCもしくはモバイル)からの登録を完了させる

■ブロック大会

項 目	期 限	備 考
大会計画届	1月21日～2月末日	ブロック大会主管LOMが登録
秋本治氏画像使用申請	1月21日～2月末日	規約、注意点を必ず確認し、お守り下さい
秋本治氏画像使用報告	大会終了5日後まで	画像データを大会報告登録時にアップロードするようにして下さい
大会報告	大会終了5日後まで	ブロック大会主管LOMが登録
チーム登録	大会終了5日後まで	全国大会出場LOMが登録
保護者同意登録依頼書	大会終了5日後まで	全国大会に出場する選手の保護者に依頼書を渡し、Web(PCもしくはモバイル)からの登録を完了させる

■全国大会当日関係

項 目	期 限	備 考
宿泊施設 引率JCメンバー確認書	7月上旬	詳細は、HPに掲載致しますので、わんぱく相撲HPから登録して下さい
体調申告書	7月30日 (全国大会当日)	全国大会当日必ず提出 (7月29日の受付でお配りします)

2. 提出書類登録の流れ



わんぱく相撲全国大会のホームページのトップより、「メンバーログイン」ボタンをクリックしてください。



ログインにはユーザー名としてLOM認証番号(0 始まりの4桁)パスワードは仮エントリー時に登録いただいたパスワードを利用します。

会員画面にログインし、各種提出書類を登録する形になります。

大会計画・大会報告・全国大会チーム登録など、各種登録毎に毎回手順書も併せてメールで案内されます。メールの宛先はエントリーいただいた担当者・事務局・代表者宛てに送付されます。

案内に沿って必ず期限日程以内に登録更新を終えて下さい。

— 各 チ ー ム 引 率 者 役 割 —

- | | |
|-----|---|
| 引率者 | <ol style="list-style-type: none">1. JCメンバーが担当し、大会当日の事務手続きを行って下さい。2. 選手の応援、チームの来賓、保護者、観戦者への心くばりを行って下さい。3. 応援は大会終了まで地区大会関係者、保護者を席に留められるようにして下さい。4. 緊急時には、会場内外警備、チームリーダーと共に観客の避難誘導を行って下さい。5. 選手の統括、競技面でのアドバイスを行って下さい。6. 選手の変更届を管理して下さい。(大会3日前正午まで、それ以降は、不戦敗)7. 選手の健康チェックを行って下さい。8. 取組進行がスムーズに行くように選手の集合等御協力下さい。9. 「まわし」を締められるように練習をして下さい。10. 選手の登録及び選手の体調申告票を本部に提出し、選手のゼッケンの受渡しをお願いします。11. 選手の出場時間、爪切、用便等の問題を十分理解し、大会役員の指示に従いスムーズに準備作業を行ない本大会が成功するよう御協力をお願いします。 |
|-----|---|

※各役員は、選手個人個人に日本の伝統的競技のひとつとされる相撲を正しく理解させ、礼節を重んじるスポーツであることを良く指導して下さい。

第 9 章

参 考 資 料

〇〇〇〇〇〇〇〇〇様

〇〇〇〇青年会議所
理事長 〇〇 〇〇
〇〇〇〇委員会
委員長 〇〇 〇〇

第〇〇回わんぱく相撲〇〇〇〇場所
開催に際しご後援のお願いについて

謹啓

貴〇〇には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会議所の諸事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会議所は「相撲」を通じて、子供達の心身の鍛錬と健康の増進を図り、そして、地域の住民や団体が協力し、その環境を育んでいくことを目的として、標記の大会を下記により開催いたします。

本大会は、第〇〇回わんぱく相撲〇〇〇場所として、第〇〇回わんぱく相撲全国大会（主催：公益財団法人日本相撲連盟、公益社団法人東京青年会議所）の予選大会になります。

本会議所では、全国大会に参加することで、〇〇〇〇の子供達に全国大会の舞台で相撲を取るという夢と目標を与え、大勢の子供達が努力すること、勝つことの喜び、負けることの悔しさ、敗者への思いやりを学び、子供達を取り巻く環境に打ち勝つ勇気と気概を持ち、心豊かな子供達に育つよう取り組んで参りたいと考えております。

つきましては、第〇〇回わんぱく相撲〇〇〇場所開催に際し、貴〇〇の後援名義を賜りたく、お願い申し上げます。

謹 白

記

日 時：〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日（ ） 午前〇〇時～
場 所：

以上

〇〇〇〇〇〇〇〇〇様

〇〇〇〇青年会議所
理事長 〇〇 〇〇
〇〇〇〇委員会
委員長 〇〇 〇〇

第〇〇回わんぱく相撲〇〇〇〇場所
開催に際しご協賛のお願いについて

謹啓

貴〇〇には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会議所は創立以来「明るい豊かな社会」を目指し、地域に密着したさまざまな社会貢献運動を展開してまいりました。

本年は、「相撲」を通じて、心身の鍛錬と健康の増進を図り、相撲の勝敗だけにこだわることなく、勝つことの喜び、負けることの悔しさを体験することにより、勝者を称え、敗者への思いやりを育むこと、そして、地域の住民や団体が協力し、その環境を育んでゆくことを目的として、標記の大会を下記により開催いたします。

わんぱく相撲は、既に各地の青年会議所を通じて全国的に普及しております。本年は第〇〇回わんぱく相撲全国大会（主催：公益財団法人日本相撲連盟、公益社団法人東京青年会議所）が開催されます。

本会議所では、この全国大会に参加することにより、〇〇〇〇の子供達にも全国大会の舞台で相撲を取るという夢と目標を与え、地域の将来を担う子供達の自主性と創造性を引出し、併せて地元の一層の発展に寄与して参りたいと考えております。

つきましては、本事業の目的と趣旨をご理解頂き、特段のご高配とご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

日 時：〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日（ ） 午前〇〇時～
場 所：

以上

〇〇〇〇〇〇〇〇〇様

〇〇〇〇青年会議所
理事長 〇〇 〇〇
〇〇〇〇委員会
委員長 〇〇 〇〇

第〇〇回わんぱく相撲〇〇〇〇場所開催のご案内

謹啓

貴〇〇には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会議所諸事業の推進に関し、種々ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、過日ご後援の願いを申し上げ、準備を進めてまいりました標記大会が下記により
いよいよ開催される運びとなりました。

つきましては、諸事ご多用中とは存じますが、是非ご来臨賜りますよう、ここにご案内申
し上げます。

謹 白

記

日 時：〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日()
午前〇〇時開始(終了は午後〇〇時頃の予定です)
場 所：

※ご来場の際は本状を受付にご提示下さい。

以上

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇〇〇〇〇〇様

〇〇〇〇青年会議所
理事長 〇〇 〇〇
〇〇〇〇委員会
委員長 〇〇 〇〇

謹啓

貴〇〇には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本会議所が主催いたしました第〇〇回わんぱく相撲〇〇〇場所開催につきましては温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様で、第〇〇回わんぱく相撲〇〇〇場所は盛会のうちに無事終了することができました。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

なお、本大会で優秀な成績を収めました下記の選手が来る〇月〇〇日(日)、国技館で開催されます第〇〇回わんぱく相撲全国大会の〇〇〇代表と決定致しましたので併せてご報告申し上げます。

謹 白

記

4年生の部 _____ 君

5年生の部 _____ 君

6年生の部 _____ 君

第〇〇回わんぱく相撲全国大会]

日 時: 〇〇〇〇年 〇月 〇〇日(日)午前9時より

場 所: 東京・両国国技館

皆様より応援の程よろしくお願い申し上げます

以上

「わんぱく相撲全国大会」終了に伴う礼状一例⑤

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇〇〇〇〇〇様

〇〇〇〇青年会議所
理事長 〇〇 〇〇
〇〇〇〇委員会
委員長 〇〇 〇〇

謹啓

貴〇〇には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会議所事業の推進に際し、種々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る〇月〇〇日、東京・両国国技館におきまして、全国〇〇チーム（〇〇〇名）の選手が参加して第〇〇回わんぱく相撲全国大会が開催されました。

先般多大なるご協力を賜りました「第〇〇回わんぱく相撲〇〇〇場所」にて選出いたしました代表選手３名を送り、各選手とも善戦いたし、結果は下記の通りでした。

ここに当日のプログラムを同封いたしまして「全国大会」のご報告方々厚く御礼申し上げます。

末筆ながら貴〇〇のますますのご発展をお祈り申し上げ、御礼のご挨拶といたします。

謹 白

記

４年生の部 _____ 君…わんぱく横綱

５年生の部 _____ 君…わんぱく大関

６年生の部 _____ 君…４回戦進出

以上

わんぱく相撲の歩み

1975年 1 月	東京JCに23区委員会が発足
1976年 9 月	「第2回都民生活意識調査報告書」作成
1977年 1 月	「青少年スポーツ特別委員会」設置
1977年 6 月	第1回わんぱく相撲東京場所・決勝大会開催 (23区大会……4,000余名)
1978年 5 月	地区大会で女子が準優勝し国技館土俵の女子禁制問題で労働省婦人青少年局長に事情説明
1979年 4 月	「わんぱく相撲教本」作成
1979年 6 月	第2回わんぱく相撲東京場所・決勝大会開催 (23区大会……8,000名)
1979年 6 月	第3回わんぱく相撲東京場所・決勝大会開催 (23区大会……10,000名以上)
1979年 9 月	「わんぱく相撲 12カ月」・「わんぱく相撲東京場所地区大会マニュアル」作成
1980年 6 月	第4回わんぱく相撲東京場所・決勝大会開催 (23区大会……10,000名以上)
1980年 7 月	文部省より「わんぱく相撲」の全国普及化の指導あり
1980年10月	全国普及化に関し文部省・日本相撲協会との合同会議
1981年 3 月	青少年相撲大会開催地の全国実態調査の実施(675JC対象) (回収率 33.7%、……何らかの形で行われている61青年会議所)
1981年 6 月	「わんぱく相撲の手引」5万部を全国市町村教育委員会並びに各地JC に配布
1981年 6 月	第5回わんぱく相撲東京場所・決勝大会開催 (東京都下の5青年会議所が参加し28チーム……12,000名)
1981年11月	わんぱく相撲東京場所答申書作成
1982年 6 月	第6回わんぱく相撲東京場所・決勝大会開催 (東京都下の11青年会議所・港区西町インターナショナルスクールが参加し35チーム……15,000名)
1983年 6 月	第7回わんぱく相撲東京場所・決勝大会開催 (東京都下の12青年会議所・港区西町インターナショナルスクールが参加し36チーム……16,000名)
1983年11月	青少年相撲大会開催地の全国実態調査の実施(712JC対象) (回収率61.5%、……何らかの形で行われている90青年会議所)
1984年 6 月	第8回わんぱく相撲東京場所・決勝大会開催 (東京都下の12青年会議所・港区西町インターナショナルスクールが参加し36チーム……18,000名) (大阪青年会議所との東西親善試合の開催)

1985年 8 月 「わんぱく相撲全国大会」・「第 9 回東京場所」決勝大会開催
(東京都下の15青年会議所・全国25青年会議所が参加し66チーム……40,000名)

1986年 1 月 (財)日本相撲協会と(公社)東京青年会議所合同による「わんぱく相撲全国大会
実行委員会」発足

1986年 8 月 「第 2 回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国84青年会議所が参加し88チーム……41,000名)

1987年 8 月 「第 3 回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国92青年会議所が参加し116チーム……42,000名)

1988年 7 月 「第 4 回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国132青年会議所が参加し143チーム……45,000名)

1989年 7 月 「第 5 回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国136青年会議所が参加し141チーム……45,000名)

1990年 7 月 「第 6 回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国158青年会議所が参加し151チーム……45,500名)

1991年 7 月 「第 7 回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国160青年会議所が参加し158チーム……50,000名)

1992年 7 月 「第 8 回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国181青年会議所が参加し157チーム……55,000名)

1993年 7 月 「第 9 回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国194青年会議所が参加し155チーム……60,000名)

1994年 7 月 「第10回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国208青年会議所が参加し157チーム……70,000名)
大会終了後、記念式典開催

1995年 7 月 「第11回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国211青年会議所が参加し156チーム……65,000名)

1996 年 7 月 「第12回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国220青年会議所が参加し158チーム……65,000名)

1997年 7 月 「第13回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国234青年会議所が参加し157チーム……60,000名)

1998年 7 月 「第14回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国239青年会議所が参加し157チーム……55,000名)

1999年 7 月 「第15回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国236青年会議所が参加し156チーム……60,000名)

2000年 7 月 「第16回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国228青年会議所が参加し153チーム……60,000名)

2001年 7 月 「第17回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国 227青年会議所が参加し147チーム……60,000名)
初めて大会テーマをかかげる「新世紀広げよう笑顔でありがとう」

- 2002年 7 月 「第18回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国224青年会議所が参加し148チーム……60,000名)
招待チームとしてモンゴルチーム参加
大会テーマ「ひろげよう 心にとどく “ありがとう”」
- 2003年 7 月 「第19回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国221青年会議所が参加し147チーム……55,000名)
大会テーマ「伝えよう愛 ひろげよう ありがとう」
- 2004年 7 月 「第20回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国220青年会議所が参加し139チーム……55,000名)
大会テーマ「元気！本気！勇気」
～元気にあいさつ・本気でぶつかれ・君の勇気にありがとう～
- 2005年 7 月 「第21回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国213青年会議所が参加し139チーム……55,000名)
大会テーマ「みせて！みんなの底力」
～ Try your best!! Show us the POWER of COMMUNITY ～
- 2006年 7 月 「第22回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国212青年会議所が参加し141チーム……55,000名)
大会テーマ「踏み出せ勇気!!」～地域で育む 大きなまごころ～
- 2007年 7 月 「第23回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国207青年会議所が参加し139チーム……55,000名)
大会テーマ「共に学ぼう 日本のこころ！」
～一生懸命競い合い 勝負のあとの思いやり～
- 2008 年 8 月 「第24回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国203青年会議所が参加し138チーム……50,000名)
大会テーマ「正々堂々たたかって笑顔であいさつ、今日から友達」
～わすれないで！感謝と思いやり～
- 2009 年 8 月 「第25回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国201青年会議所が参加し134チーム……45,000名)
大会テーマ「思いやり、感謝と一緒にフェアプレー」
～今日の涙を明日の笑顔へ～
- 2010 年 8 月 「第26回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国201 青年会議所が参加し132チーム……45,000名)
大会テーマ「自分との約束」～打ち克つ勇気と思いやり～
- 2011 年 7 月 「第27回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国199青年会議所が参加し135チーム……40,000名)
大会テーマ「自分への挑戦！」～あきらめない心と思いやり～

- 2012 年 7 月 「第28回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国201青年会議所が参加し133チーム……40,000名)
大会テーマ「勇気がくれる明日への力」
～みんなの元気を日本中に広げよう！～
- 2013 年 7 月 「第29回わんぱく相撲全国大会」開催
(全国201青年会議所が参加し129チーム……40,000名)
大会テーマ「ありがとう」～感謝から学ぼう！日本の心！～
- 2014 年 5 月 「第1回わんぱく相撲モンゴル大会」開催
2014 年 8 月 「第30回わんぱく相撲全国大会」開催
(国内外〈日本各地LOMとモンゴル・ウランバートルセントラルJC〉
204青年会議所が参加し132チーム……35,000名)
大会テーマ「夢への挑戦」～強い心と感謝の気持ち～
- 2015 年 6 月 「第1回わんぱく相撲ハワイ大会」開催
2015 年 8 月 「第31回わんぱく相撲全国大会」開催
(国内外〈日本各地LOMとモンゴル・ウランバートルセントラルJCとハワイ
JC〉203青年会議所が参加し131チーム……33,000名)
大会テーマ「Respect」～互いを敬い思いやる心～
- 2016 年 7 月 「第32回わんぱく相撲全国大会」開催
(国内外〈日本各地LOMとモンゴル・ウランバートルセントラル JC〉
205青年会議所が参加し131チーム……40,000名)
大会テーマ「自分を信じる力」～かがやく未来を切りひらけ!! ～
- 2017 年 7 月 「第33回わんぱく相撲全国大会」開催
(国内外〈日本各地LOMとモンゴル・ウランバートルセントラル JC〉
209青年会議所が参加し132チーム……37,000名)
大会テーマ「夢に向かって熱くなれ！」～つながりから学ぶ和の心～
- 2018 年 7 月 「第34回わんぱく相撲全国大会」開催
(国内外〈日本各地LOMとモンゴル・ウランバートルセントラルJC〉
209青年会議所が参加し113 チーム……35,000名)
大会テーマ「踏み出す勇気」～明日へつながる決意の一步～
- 2019 年 8 月 「第35回わんぱく相撲全国大会」開催
(国内外〈日本各地LOMとモンゴル・ウランバートルセントラルJC〉
213青年会議所が参加し110チーム……33,000名)
大会テーマ「勇気・礼節・感謝」～心にいつもわんぱくピース!!! ～
- 2020年11月 「第36回わんぱく相撲全国大会」中止

- 2021年10月 「第36回わんぱく相撲全国大会」開催
大会スローガン「勇気・礼節・感謝」～心にいつもわんぱくピース!!!～
大会テーマ「CHALLENGE」
(全国143青年会議所が参加し69チーム……2,000名)
- 2022年10月 「第37回わんぱく相撲全国大会」開催
大会スローガン「勇気・礼節・感謝」～心にいつもわんぱくピース!!!～
大会テーマ「New Challenge」
(全国171青年会議所が参加し97チーム……13,000名)

第 1 0 章

「わんぱく相撲」競技事項

第 10 章「わんぱく相撲」競技事項

1. 競技心得

(1) 運営者側

競技を開始する前に、次の諸事項に留意すること。

ア) 選手点検

- ① 風邪その他の症状がないかどうかの確認
- ② 既往症の有無及び競技に支障がないかの確認
- ③ 注意事項を守っているか(爪切り、用便その他の確認)

イ) 準備運動

怪我防止の為、参加選手全員に対し行う。

ウ) 競技上の注意

選手全員を集合させ競技についての注意事項を中心に、禁じ手をふくめ注意事項の徹底をする。

(2) 競技者側

ア) 競技は必ず主審の指図さしずに従うこと。

イ) 呼び出しに応じて二字口で立礼をして(俵を踏まないように土俵に入ること)競技を行う。

ウ) 勝負が終わったならば両方とも二字口で礼をし、勝ったものだけが蹲踞そんきょして主審より勝ち名のりを受けること(俵を踏まないようにして土俵の外に出る)。

エ) 勝ち名のりは蹲踞そんきょのまま目礼し受けること。

オ) 土俵だまりで足を投げ出したり、土俵で足をこすらないこと。

カ) 競技に審判員より物言がついたときは、土俵の下におり、主審の指示により行動すること。

2. 競技規定

(わんぱく相撲のために特に定めており、大相撲とは異なります。)

(1) 勝ち負けのルール

つぎの場合は負けとする。

- ① 相手より先に土俵を出たとき。
- ② 相手より先に、足のうら以外のからだの一部が砂についたとき。
- ③ 禁じ手を使ったとき。(3)を参照(「禁じ手・禁じ技」ページへP.81も参照)
- ④ 主審の指示に従わなかったとき。

(2) 立 合 い

立合いは主審の指示に従い、両手をついて「はっけよい」で立つこと。「待った」はない。

注) 2度づきは負けとなるので、特に気をつけること。

(3) 禁じ手・禁じ技

これを使うと反則(直ちに中止して審判競技の上、負けとなる場合と取直しの場合がある)になる。危険を防ぐためのルールであるから、けっして使わないように注意すること。

禁じ手 ① ^{にぎ}握り^{こぶし}拳^つで突^{なぐ}き、殴ること

② ^は張^てり手

③ ^{とうはつ}頭髪^{つか}を掴むこと

④ ^め目、または^{みぞおち}水月^{きゅうしよ}などの急所^つを突くこと

⑤ ^{まえたてみつ}前立禪^{つか}を掴むこと

⑥ ^{のど}喉^{つか}を掴むこと

⑦ ^{むね}胸、^{はら}腹^けを蹴ること

⑧ ^{いっし}一指・^{にし}二指^もを持って^お折^{かえ}り返すこと

⑨ ^か噛^そむこと

禁じ技 ① ^そ反^{わざ}り技

② ^{かわずが}河津掛

③ ^{さばお}鯖折

④ ^き極^だめ出^し

⑤ ^{がっしょう}合掌

⑥ ^{かも}鴨^いの^{くび}入れ首

⑦ ^{こうとうぶ}後頭部^{あいて}を^{ふくぶ}相手の腹部^{につける}につける

3. 審判規定

- (1) この大会には審判長1名、副審判長若干名、審判員若干名をおいて大会の審判を行う。
- (2) 審判員は勝負の判定、その他審判に関することになる。
- (3) 主審の判定に対して副審の間に疑義を生じた場合は、審判長を中心として、主審及び副審との合議の上決定する。
- (4) 主審の判定に対して異議の申立ては、担当している審判長並びに副審に限る。
- (5) 禁じ手を用いた場合は、競技を中止させ、審判協議のうえ勝負及び取直しを決める。
- (6) 競技中、負傷によって競技の進行不能と審判が認めたときは、審判合議のうえ負けとすることがある。
- (7) 競技中前袋の落ちた時は、負けとする。
- (8) 約3分間の試合で勝負のつかないときは水入りとし2番後に取り直しとする。引き続き水入りとなった場合も同様に2番後の取り直しとし、以降これを繰り返す。これは子供の体力面を考慮したものであるため、必ず間を空けての取り直しとすること。
- (9) 他の事項については日本相撲連盟大会競技規定に定められた「審判規定」に従うものとし、その運用は大会当日の審判団に委任する。

4. その他

ここに定めのない事項については実行委員会の決定による。

審判規定（日本相撲連盟審判規程：抜粋）

(1) 審判員及び任務

- ① 審判員の構成は、審判長、主審及び副審4名（計6名）とする。（第2条）
- ② 競技の勝負判定は、当該審判員に限る。（第3条）
- ③ 審判長又は副審が主審の勝負判定に対して異議又は疑義がある場合においては、協議を行うものとする。（第6条）

(2) 勝ち負けのルール

ア) 次の場合は勝とする。（第7条）

- ① 相手選手を先に勝負俵の外に出した場合
- ② 相手選手の足の裏以外の一部を先に土俵につけた場合

イ) 次の場合は、審判員の協議により当該選手を負けとする。（第9条）

- ① 負傷等により、競技続行が不可能と判定された場合
- ② 禁手を用いた場合又は用いたと判定された場合
- ③ 選手が勝手に競技を中止した場合
- ④ 審判員が故意に立たない選手と認めた場合
- ⑤ 審判員の指示に従わない場合

ウ) 競技中まわしの『前ぶくろ』が解けてはずれた場合は、負けとする。（第13条）

(3) 禁手とは、次の各号のことをいう。（第10条）

（禁手が用いられたときは、主審は直ちに競技を中止させる）

- ① 拳で殴ること。
- ② 胸部、腹部等を蹴ること。
- ③ 目、水月等の急所を、拳又は指で突くこと。
- ④ 頭髪をつかむこと。
- ⑤ 咽喉をつかむこと。
- ⑥ 前ぶくろ（前立禅）をつかむこと、又は横から指を入れて引くこと。
- ⑦ 一指又は二指を折り返すこと。
- ⑧ 噛むこと

(4) 『張り手』が用いられた場合は、直ちに競技を中止し審判員の協議により処置する。（第11条）

- ① 全審判員が故意に用いたと判定した場合は、負けとする。
- ② 審判員のうち故意によるものでないと判定した者がいる場合は、取り直しとする。

③ 取り直しとなった勝負において、同一選手が再度用いた場合は、故意、過失にかかわらず負けとする。

④ 『張り手』とは、選手本人の肩幅の外側から相手の顔面を張ることをいう。

(5) 禁じ技（日本相撲連盟審判規程補則：抜粋）

ア) 危険を防止するため、次の技を『禁じ技』とする。（第1条）

- ① 反り技（居反り・櫓反り・撞木反り・掛反り・外櫓反り）
- ② 河津掛け
- ③ さば折り
- ④ 極め出し・極め倒し（かんぬき）

イ) 『禁じ技』が用いられた場合は、直ちに競技を中止し、取り直しとする。（第2条）

ウ) 『禁じ技』で勝負が決まった場合は、審判員の協議により取り直しとする。（第3条）

エ) 同一選手が『禁じ技』を二度用いた場合は、審判員の協議により負けとする。（第4条）

(6) 危険な組み手（日本相撲連盟審判規程補則：抜粋）

ア) 危険を防止するため、次の状態を、『危険な組み手』とする。（第5条）

- ① 脇に入った相手の首を極めること。（抱え込む）
- ② 後頭部を相手の腹部につけること。（突っ込む）
- ③ 鴨の入り首

イ) 『危険な組み手』となった場合は、直ちに競技を中止し、取り直しとする。（第6条）

ウ) 同一選手が『危険な組み手』（鴨の入首を除く）を二度用いた場合は、審判員の協議により負けとする。（第7条）

(7) 立ち会い

立ち会いは、主審のかけ声によって立ち合わせるものとする。（第14条）

① 立会いは、両手をついて主審のかけ声によって立つものとする。「待った」は原則として認めない。（本大会の特別規程）

(8) 競技開始後3分を経過しても勝負が決しない場合は、競技を中止し、直ちに『取り直し』とする。（第17条）

① 2番後取直しとする。（本大会の特別規程）

試合の前に必要なこと

※準備運動を怠りますと、怪我をする危険性が高くなります。必ず、相撲をはじめる前に十分な準備運動をして下さい。

準備運動は、手足の屈伸をはじめ、最低10分ぐらいの予備運動を出場選手全員に対して行います。これは汗をかく程度まで行うのが目安です。

① 関節柔軟運動(かんせつじゅうなんうんどう)

相撲の試合や技能練習を行うための身体的能力を高める。

筋肉や関節を柔軟(ほぐす)にしておくことで安全性を確保する。



② 伸脚運動(しんきゃくうんどう)

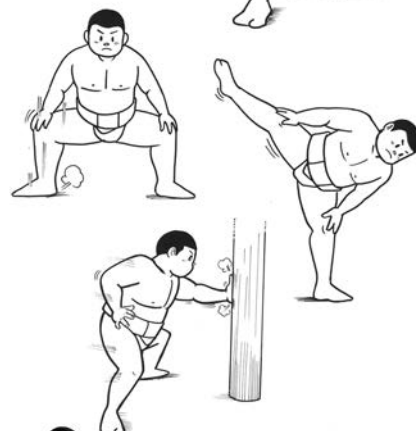
下半身にバネをつけるための運動です。

左右の足をかわるがわる伸ばします。



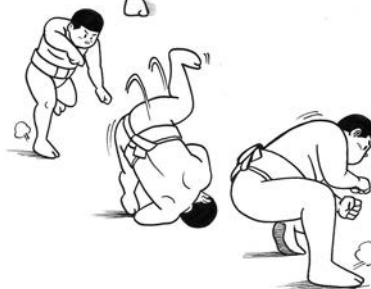
③ 四股(しこ)

両足を開いて構え、足を左右かわるがわる高くあげ、力を入れてふみます。手はひざにそえます。大切なのは上体をまっすぐにする事で、前かがみになると効果がなくなります。



④ てっぼう

柱に向かって、左右かわるがわる突っ張ります。片方の手が柱から離れる直前に、もう片方の手で突っ張るのがこつです。



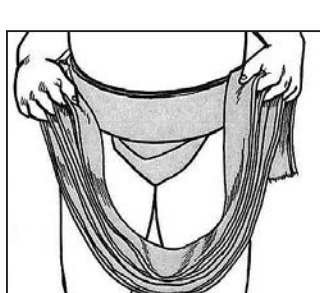
⑤ ころがり

ころがりとは、受け身のことで、頭、肩、手のひらなどをつかないようなころび方が大切です。

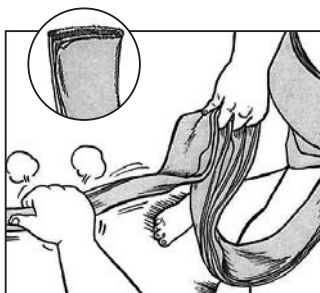


※大会当日の国技館内では、準備運動(ウォーミングアップ)は禁止です。
相撲教習所にて準備運動して下さい。

まわしの締め方



① 補助者は四つ折りにしてあるまわしを、このように指で手に取って、持つ。



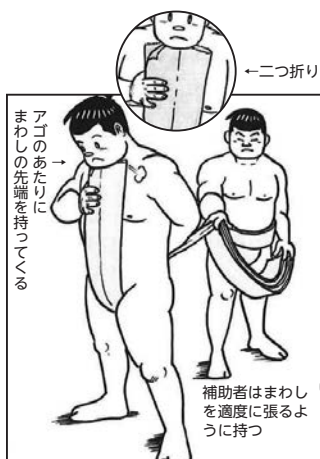
② 締める人は、補助者からまわしの先端を受け取る。



③ 四つ折りにしたまわしの先端を二つに開き、前袋部分を形作りながら、八つ折りにして立てまわし部分を作る。



④ 先端から立てまわしまでを跨ぎ、股に挟んで、前袋をつくる。補助者は後ろから立てまわしが下に落ちないように、やや上に引き加減で張って持っている。



⑤ 締める人は、まわしの先端を顎に挟み、立てまわしを持つ手を左手に変える。



⑥ 後ろの立てまわしの部分を八つ折りにして左手で腰のあたりで押さえて中心をつくる。補助者は、位置を確認して伝える。



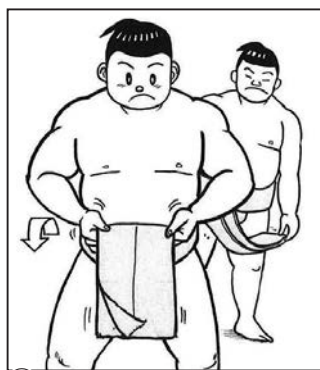
⑦ 締める人は、左手で中心をしっかり持ち、自ら右回りに回る。補助者はまわしが締める人の後ろに来た時はやや上加減に、お腹側に来た時はやや下加減にすると良い。



⑧ まずは2周まわる。補助者は、前まわしから横まわしへと、まわしがぴったりと重なるようによく見て、締まるようにする。



⑨ 締める人は、立てまわしを左手でしっかり押さえ、右手で横まわしを持ち前に引っ張り、腰を左に振りながら、締めていく。



⑩ 立てまわし部分を2周したら、前垂れを下ろし、締める人は前後がきつくないか調整する。



⑪ 調整したら、下ろした上からまわしを締めて行き、もう1周巻く。



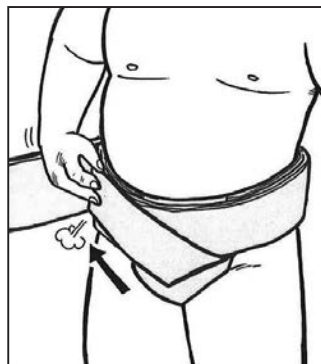
⑫ きつく締める時は、前袋に親指を入れ前に出す。



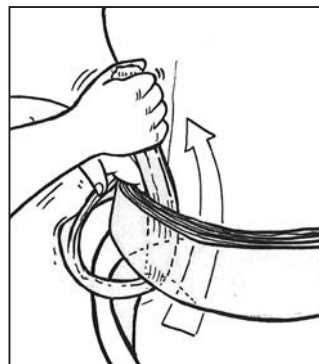
⑬ ゆるめる時は、横まわしの下の前袋に親指を入れ引き下げる。



⑭ 垂れている二つ折りの前垂れを谷折りに折って合わせ四つ折りにする。



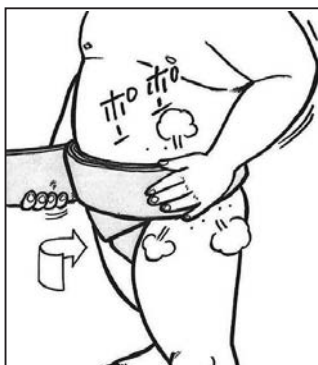
⑮ 右側に折り込むと前に三角が形づくられる。



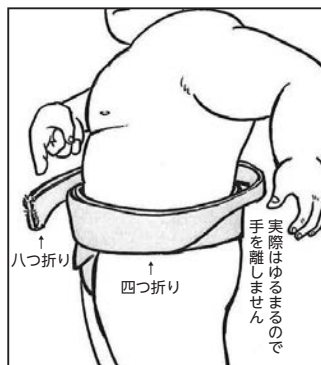
⑳ 立てまわしの下を通して、横まわしの下から上に引き出す。立てまわしの位置にも気をつける。



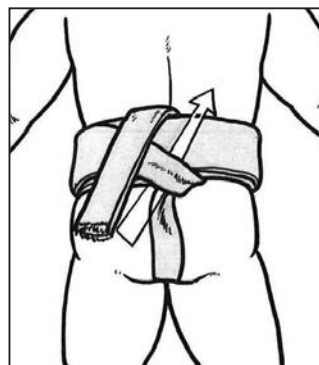
㉑ 補助者は腕をデコにして引き上げる。締める人は体を下におろす。



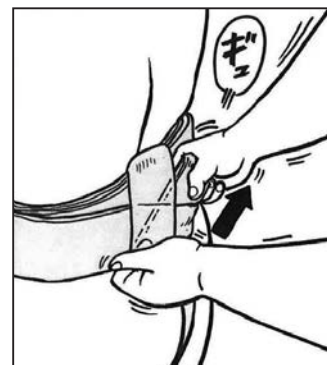
⑯ さらに折り込みの上から締めながら、もう1周巻きながら、ゆるまなようによく締めてたたいていく。



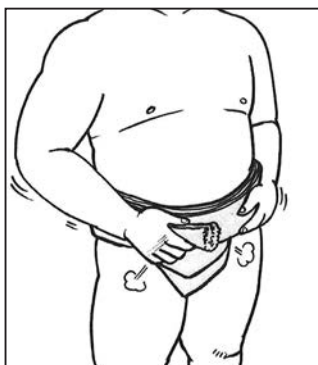
⑰ 補助者は、4周を過ぎたら、左横辺りから四つ折りを八つ折りにして結び目にする。



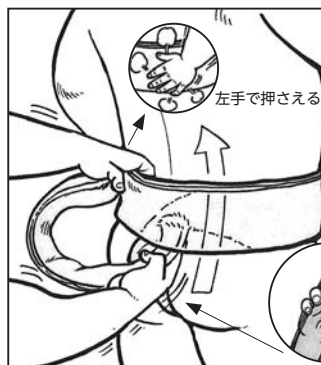
㉒ 引き出した最後尾部分を左斜めにおろして、右側に差し込む。



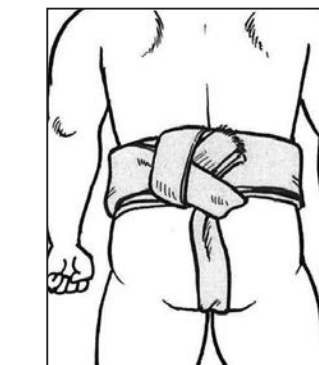
㉓ 最後尾部分を強く締めて結び目とする。



⑱ ヘソの位置に最後尾がくると、後ろの結び目の長さがちょうどいい。



⑲ 補助者は、最後尾を左腰横くらいから八つ折りにして右手に持ち、コブにならないように気をつけながら、立てまわしの下に通す。締める人は、左手でまわしをしっかりと押さえておく。



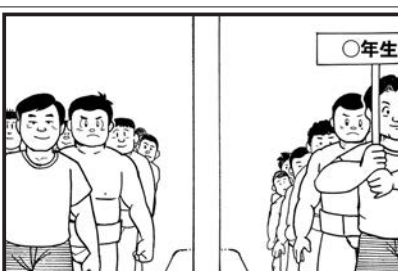
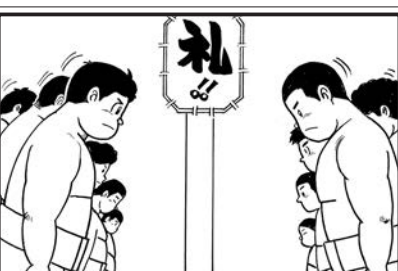
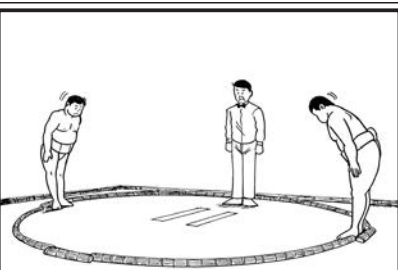
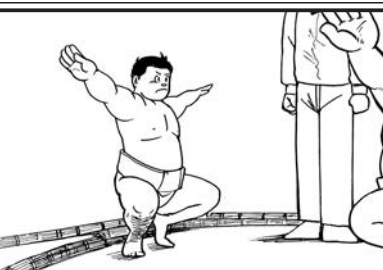
㉔ 出来上がり。

基本的に、まわしは立てまわしの後ろ部分から数え始め、4周で締めます。締め終わったら、立てまわしは真ん中に来ているか、前袋がきちんとあっているか、腰がきとんと下ろせるか、動いて確認しましょう。

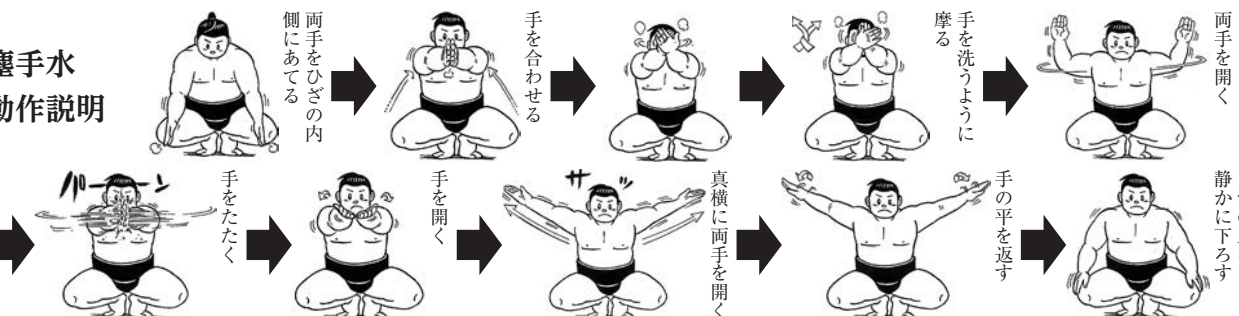
試合の前後の所作

－土俵に上がってから下りるまで－

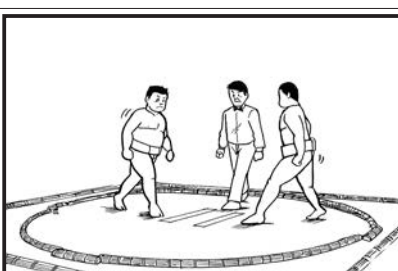
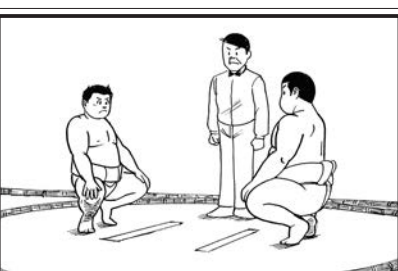
※大相撲の所作とは異なる点があります。

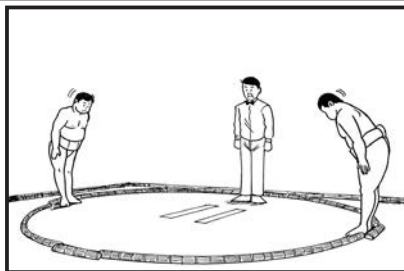
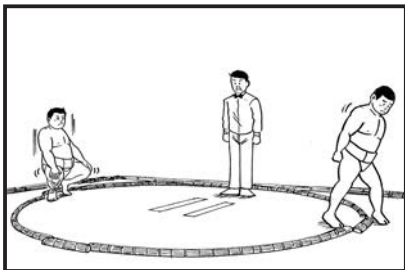
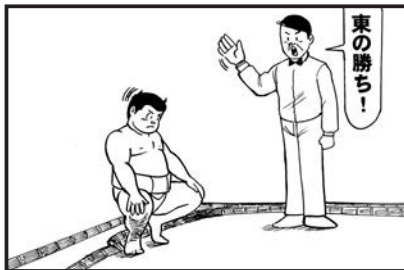
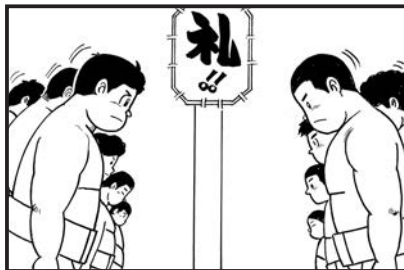
①入場  選手は誘導係員に従い、支度部屋から会場へ入場する。	②選手全員で礼  土俵溜まり席に並んだら、「礼」のアンウンスにしたがい、全員で礼をする。礼の後、土俵溜席に腰を下ろす。	③土俵へ進む  「東、～君」「西、～君」と名前を呼ばれた選手は立ち上がり、「ハイッ!」と大きな声で返事をして土俵へ進む。
④土俵へ上がる  中央の上がり段に片足を掛け、徳俵の内側（二字口）に入る。このとき、俵や蛇の目の砂を踏まないよう気を付ける。	⑤立礼（一回戦～）  徳俵の内側でお互いに立礼する。	塵手水（準々決勝～）  蹲踞の姿勢から、塵手水をする。 （塵手水の詳しい動作は塵手水動作説明で解説しています）

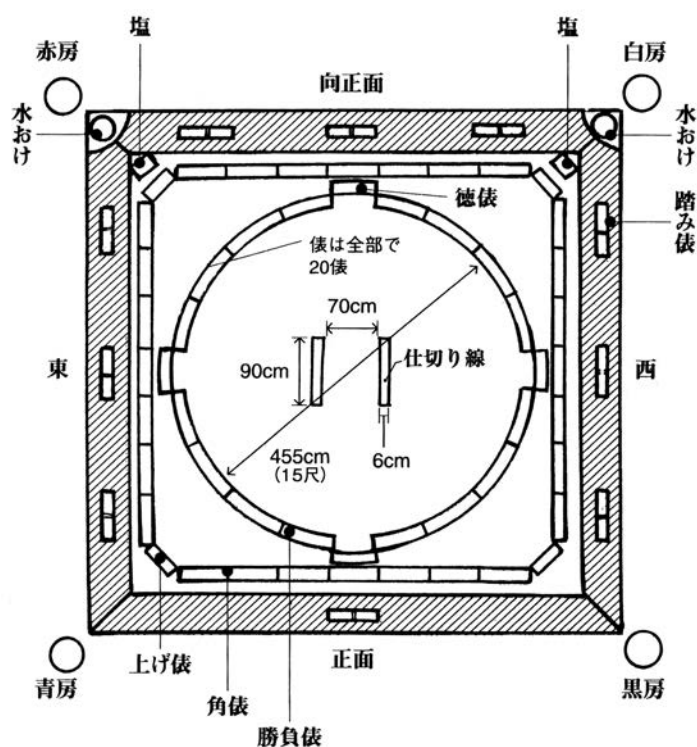
塵手水 動作説明



塵手水は正々堂々と素手で戦うことを相手に伝える意思表示です。腰を下ろす蹲踞は相手を敬う（思いやる）ことを表し、掌を擦り合わせてたたく動作は手を清めること、両手を左右に広げて掌を見せる動作は武器を持っていないことを表します。

⑥仕切り線へ進む  仕切り線の一步手前まで進む。	⑦蹲踞  顎を引き、背筋を伸ばして両掌を膝にのせて腰を下ろす。両膝は十分に左右に開き全身の力を抜く。	⑧仕切り  蹲踞から立ち上がり、右足、左足と足を開き、脇を締めて腰を深く下ろす。拳を地面に付け、前へ体重を掛ける。
---	---	--

⑨試合  主審の「ハッケヨイ！」の掛け声により立ち上がり、取組む。	⑩勝負の決定  勝負が決まると、主審が東西の勝者側に腕を挙げる。両者は徳俵内側へ戻る。	⑪立礼  主審の「礼」の合図でお互いに立礼する。
⑫勝者は蹲踞  勝者はその場所に蹲踞する。敗者は土俵を下りる。	⑬勝名乗り  主審から「東（もしくは西）」と勝名乗りを受けたら勝者は目礼する。目礼後、土俵を下り、誘導係員の指示に従う。	⑭選手全員で礼、退場  すべての試合が終了したら、アナウンスと誘導係員の指示に従い退場する。



◎仕切り線

仕切り線は昭和3年一月場所より土俵に引かれました。仕切り線ができたことで、どの取組も同じ位置で仕切りが行われるようになりました。

◎土俵の大きさ

昭和6年に土俵の直径が3m 94cm (13尺) から直径4m 55cm (15尺) に広がりました。その頃の男性 (17才) の平均身長と体重が161cm、53kg。それが現代では171cm、63kgと、体が大きくなっていることがわかります。

◎土俵上での作法

昔から土俵は神様がいらっしゃる神聖な場所とされ、土俵上での礼、塩まき、勝名乗り等の作法は一つ一つ正しく行うことが大切にされています。また、蹲踞や礼等は相手に対して敬意や感謝を表す作法です。

禁じ手・禁じ技

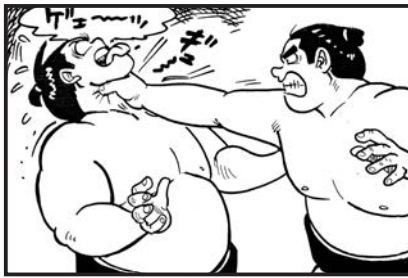
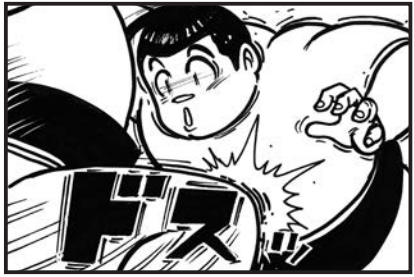
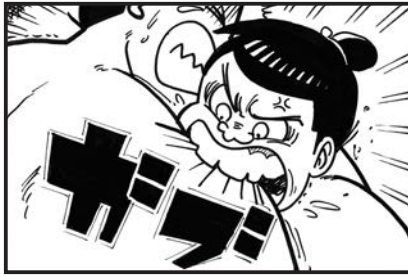
次に挙げる各行為は、相手に危害を与える危険な手や技であり、禁じられています。

※大相撲の禁じ手とは異なります。

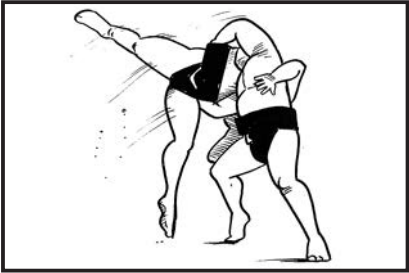
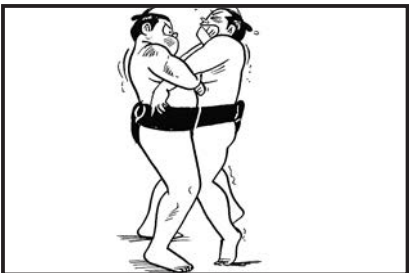
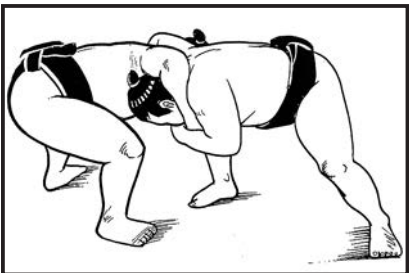
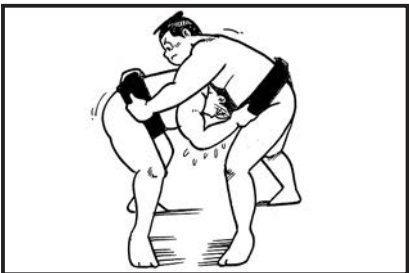
危険な行為を禁じることで、運動競技としての相撲が成り立ってきました。

試合で禁じ手・禁じ技を用いた場合は取り直しや反則負けとなることがあります。

禁じ手

にぎ こぶし つ なぐ 握り拳で突き、殴ること	は 張 手 張り手	とうはつ つか 頭髪を掴むこと
		
(相手の) は お 歯が折れる。 め ぞんしょう しつめい 目が損傷（失明）する。	(相手の) こまく やぶ 鼓膜が破れる。 くち き 口が切れる。	(相手の) くび いた 首を痛める。
め みぞおち 目、または水月などの 急所を突くこと	まえあたみ つか 前立禪を掴むこと	のど つか 喉を掴むこと
		
(相手の) め ぞんしょう しつめい 目が損傷（失明）する。 こきゅう で き 呼吸が出来なくなる。 ないぞう はれつ 内臓が破裂する。	(相手の) まわしが はず まわしが外れる。	(相手の) こきゅう で き 呼吸が出来なくなる。 くび いた 首を痛める。
むね はら け 胸、腹を蹴ること	いっし に し も 一指・二指を持って 折り返すこと	か 噛むこと
		
(相手の) ろっこつ こっせつ 肋骨が骨折する。 ないぞう はれつ 内臓が破裂する。	(相手の) ゆび つ ゆび 指が突き指する。 こっせつ 指が骨折する。	(相手の) ひ ふ き 皮膚が裂ける。 ひ と かのう 皮膚が化膿する。

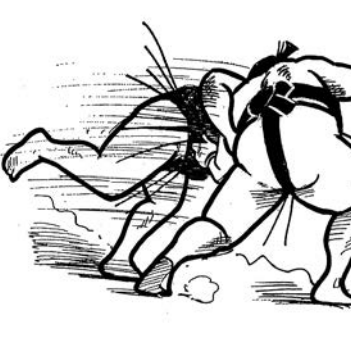
禁じ技

そ わ ざ 反り技	か わ づ が 河津掛け	さ ば お 鯖折り
		
あ い て が う み (相手が) 受け身をとれない。 こうとうぶ きょうだ 後頭部を強打する。 くび いた 首を痛める。	あ い て が う み (相手が) 受け身をとれない。 こうとうぶ きょうだ 後頭部を強打する。 じんたい そんしょう 靱帯を損傷する。	あ い て が こし いた (相手が) 腰を痛める。 ひざ いた 膝を痛める。
き だ 極め出し	が っ し ょう 合掌	か も い く び 鴨の入れ首
		
あ い て の ひじ いた (相手の) 肘を痛める。	じ ぶん て はず (自分の) 手が外せなくなる。 て ゆび こっせつ 手の指を骨折する。 あ い て が こし いた (相手が) 腰を痛める。	あ い て の くび いた (相手の) 首を痛める。
こうとうぶ あ い て の ふくぶ 後頭部を相手の腹部につける		
		
あ い て の くび いた (相手の) 首を痛める。		

決まり手

主な技は次の通りです。

これらの技の他にも決まり手があり、すべて合わせると82手と5つの勝負結果になります。

①突き出し	②押し出し	③寄り切り
		
突っ張って相手を後ろに倒す。	両手や頭を押しつけ、土俵外に運ぶ。	組んで寄って相手を土俵外に出す。
④上手投げ	⑤下手投げ	⑥小手投げ
		
外側からまわしをつかみ投げて転がす。	差し込んだ下手でまわしをつかみ投げる。	相手の差し手を上から抱えて投げる。
⑦掬い投げ	⑧上手出し投げ	⑨下手出し投げ
		
相手の腕を脇の下からすくって投げる。	上手まわしで引っ張り出すように投げる。	下手で相手を引きずるように投げる。

©琴剣

⑩^{か な}掛け投げ  うちがわ あし 内側から足をからめてしっこく投げる。	⑪^{うち が}内掛け  うちがわ あし 内側から足をからめ、背中から倒す。	⑫^{そと が}外掛け  どひょうざわ そとがわ あし か 土俵際、外側から足を掛けて倒す。
⑬^{あし と}足取り  りょうて あいて かたあし かか 両手で相手の片足を抱えて倒す。	⑭^{つ お}突き落とし  かた やわき 腹に手をあて突き落とす。	⑮^{うち む そう}内無双  うち ももを したから 手で払い、捻り倒す。
⑯^{つ だ}吊り出し  あいて かか 相手を抱えて吊り上げ土俵外へ出す。	⑰^{おく}送りだし  あいて うし 相手を後ろ向かせ、押すか突いて出す。	⑱^う打っちゃり  よ 寄られた土俵際、左右に振って投げる。

ファイト！ザ・わんぱく相撲^{ず もう}

作詞 保 富 康 午
作曲 巳 城 研 二
唄 塩 見 大 治 郎



ぶ つ ー か れ ば ー も え る ひ ば な さ ー な に ー も か も ー ん い だ は だ か で と
り ー く め ば ー ま る い ど ひ ゅ う は ー そ の ま ま ゆ め ー の U_FO さ と ん
で ゆ く ん だ し ら な い せ か い へ
ど ん な あ い て の ち か ら も わ ざ も か ら だ ぜ ん ぶ で う け と め ろ い の ー ち ぜ ん ぶ で
せ め て ゆ け に っ ぽ ん い ち ー の よ ー こ ー づ な ー さ
ファイトファイト オ オ ファイトファイト オ オ ザ わ ん ぱ く ず も う

- (一) ぶつかれば 燃える火花さ
なにもかも んいだはたか
取り組めば まるい土俵は
そのまゝ夢の UFOさ
とんで行くんだ 知らない世界へ
- ※ どんないのちぜんぶで 攻めて行け
日本一の横綱さ
- △ ファイト ファイト オオー
ザ・わんぱく相撲
- (二) たたかいは ジェット噴射さ
太陽と 風と大地と
集まった まるい土俵は
すてきな夢の UFOさ
わいてくるんだ 知らないちからが
- キリリ締め込み 心にしめて
からだひとつで 立ちあがれ
いのちひとつが ここにある
日本一のわんぱくさ
- △ (くりかえし)
※ (くりかえし)
△ (くりかえし)

2024年エントリー開始は
東京全国会員大会で
2024年わんぱく相撲全国大会
エントリーの説明があります。
エントリー登録期限は、
2023年11月30日厳守
必ずお守り下さい。

注 意 事 項

チームリーダーの皆様が中心となって

『LOM・ブロック大会にて』

- 大会テーマを LOM 大会・ブロック大会の参加者全員に伝えて下さい。

選手が相撲に強くなる事が当大会の目的ではありません。選手や引率者のみならず参加者全員（地域の人々、家族、友人等）が大会テーマを共有する事が、JC としての運動の一步となります。

- わんぱく相撲競技規定では、アマチュア相撲で許される「かわずがけ」、「首抱え」が禁じ手となっていますのでご注意ください。

『全国大会にて』

<メンバー・引率者>

- 相撲部屋での選手の宿泊は、相撲部屋のご好意で選手を受け入れて頂いているものです。つまり選手はお客様ではなく、宿泊や食事の恩義を頂戴しています。したがって選手が礼儀（挨拶やお礼等）をわきまえる教育の場です。礼儀が出来ていなかったり、わがままな選手はそれを指導し正してください。もちろんチームリーダーは、その模範を示してください。当然、夜中に選手を残し出掛ける等、大人としての常識の範囲をこえる行動は、絶対にしないで下さい。
- 喫煙は指定場所以外では厳禁です。
- お酒の持ち込みは厳禁です。また会場外へ出て飲酒をして戻ってくることも厳禁です。
- のぼりは花道脇階段手摺へ設置をお願いします。横断幕・タレ幕は禁止です。
- 土俵廻り・支度部屋は立ち入り禁止です。
- ゴミは燃えるもの、燃えないものに分別し、指定の場所へ捨ててください。帰る時には、自分達のスペースは必ずゴミの無いようにしてください。

<選手への徹底>

- チーム名と引率者名を選手自らが書けるようにしてください。
- 大会当日はきっちりとまわしを締めてから支度部屋へ集合してください。まわしが取れた場合は負けとなります。
- 選手が土俵に上がる場合、降りる場合は蛇の目（土俵綱廻りの砂）を絶対踏まない指導をお願いします。
- 立合いでの2度づきは負けとなるのでしっかりとご指導・ご注意ください。
- 選手は、升席で着替えが終わったら支度部屋に着替えを持って行ってください。
- 選手は升席に上がる際は、支度部屋で着替えて砂を払い上げるようお願いいたします。ふんどしでは上がらないようにしてください。

以上、注意事項を遵守頂きます様、よろしくお願いします。なお、注意事項を守れない場合は、出場を停止する場合があります。

わんぱく相撲全国大会 マニュアル

2023 年 1 月 1 日発行

編集 公益社団法人 東京青年会議所わんぱく相撲委員会

発行 わんぱく相撲全国大会実行委員会

〒102-0093 千代田区平河町 2-14-3

青年会議所会館 2F 公益社団法人 東京青年会議所内

ホームページ： <http://www.wanpaku.or.jp>



Instagram

<https://www.instagram.com/reel/CkKUkkwPjVK/?igshid=MDJmNzVkMjY=>



TikTok

<https://vt.tiktok.com/ZSRtBhDdE/>



Facebook

<https://www.facebook.com/Wanpakusumo/>

公益財団法人 日本相撲連盟

公益社団法人 東京青年会議所